

令和2(2020)年度

F D研究部会活動報告書

第12号

徳島文理大学
徳島文理大学短期大学部

巻 頭 言

この 15 年間の高等教育の改革を概観してみると、大学への認証評価の導入、大学の法人化、大学のガバナンスの確立および教学マネジメントとの明確化等の制度改革と体質改革が主であったが、2020 年度からは個々の大学の生き残り淘汰をかけた改革の実施であった。2020 年の 18 歳人口はおよそ 120 万人であるが、2040 年にはおよそ 88 万人に減少する（さらに減るといふ厳しい見方もある）と考えられている。このために定員確保を達成するための改革である。さらに大学の質保証を合わせて達成しなければならない。学生に魅力ある大学を目指さなければならないことが前提になることは言うまでもない。ところが、年度初めに新型コロナウイルス感染症の蔓延により、教育のあり方を左右する問題が露呈した。しかし、改革の歩調は鈍ったが先送りされたにすぎない。さらに 2021 年になって、文部科学省は、地方創成を推進するために地方国立大学の定員を増員することを考えていることを明らかにした。地方の私立大学に課せられた新たな試練である。

徳島文理大学としては、建学の精神「自立協同」を堅持し、地方に根差した、幅広い人格形成の場としての大学を目指して定員確保のための施策を粛々と積み上げていかねばならないと考えている。

ここで、コロナ禍を通して得られたこれからの大学教育のあり方について言及する。今後の大学改革の一助となれば幸いである。

まず、教職員と学生が一体となって組織運営をしなければならないことが必要であることがわかった。そのためには、学生に大学の構成員としての自覚を持ってもらうことが大切である。

次に、学生がこれからの予測困難な時代の中で生きていくためには、意識の中に多様性の存在を認め、精進することを大学教育を通して身につけなければならない。そのためには「学ぶを止めてはならない」ことも自覚する必要がある。

最後に、教員の役割は、教育・研究を通して「学問の魅力を提示すること」に尽きることを、原点に戻って見直すことであると思われる。

副学長 吉田 憲一

目 次

1. はじめに	1
2. FD活動の内容	1
3. 研修会	3
4. 全学授業アンケート	7
5. 研究授業	9
6. 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	13
7. おわりに	21

(資料編)

1. 要綱・内規	資料編 1
2. FD研究部会 部員名簿・会議一覧	資料編 3
3. 研修会	資料編 5
4. 全学授業アンケート	資料編 10
5. 研究授業	資料編 21
6. 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	資料編 25
7. 用語解説	資料編 30

1. はじめに

FDは、大学設置基準「(教育内容等の改善のための組織的な研修等)第二十五条の三 大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」(平成20年4月1日施行)に基づき、全ての大学において、法的義務となっている。短期大学設置基準に基づき短期大学も同様である。本学の「FD研究部会」(以下「部会」)も、こうしたことを前提に、平成19年12月、FD活動の推進・支援を目的として設立された。

「徳島文理大学教育開発機構設置要綱」(平成29年4月1日施行)は、「当面する教育上の諸課題又は学長からの諮問事項を研究協議」する「学長直属の教育開発機構」内の組織について、「(1) 全学教務委員会 (2) 入試制度検討部会(入学前教育を含む。) (3) 全学共通教育研究部会 (4) FD研究部会」と規定している(資料編1頁参照)。部会員は学長による任命であり、原則として毎月開催される部会である。本学におけるFDの重要性は明らかである。

本誌「FD研究部会活動報告書(第12号)」は、令和2年度のFD活動成果の抄録である。ご一読いただき、ご意見・ご要望を各学部のFD委員までお寄せいただければ幸いです。

2. FD活動の内容

ここでは、全学FD研修会について、直近の3ヵ年を振り返る。

平成30年度は、栗田充治・亜細亜大学学長を講師に迎え、「防災・減災及び防災教育における大学の役割」をテーマとして開催した。

栗田学長は、台湾中部大地震の救援隊派遣(平成11年)という国際的な活動の紹介を含め、具体例により、座学中心の正規科目と正課外としての被災地の現地実習の両方が、防災教育には必要であることを強調された。

本学では、防災・減災活動として、「特色ある教育・研究」に採択された職員により、平成24年度から26年度まで「災害に負けない生きる力を養う防災教育の展開」が行われ、学生・教職員及び一般向けの防災講座や普通救命講習会等に延べ944名が参加した。平成28年度から30年度までは、準正課教育プログラム「BUNRI 防災ネットワークプロジェクト」により、防災をテーマとした学生の主体的な活動が正課教育に及ぼす影響について社会人基礎力の観点から検討が行われ、のべ23名の学生が受講した。

また、平成29年には、学外でのボランティア経験を含めて単位とする正規科目も始まり、地域貢献の一環として徳島県と連携してスタートした「とくしまボランティアパスポート制度」を活用した地域清掃ボランティア活動では、学生155名、教職員34名、計189名が参加するなど、正課外の取組が始まっていた。

こうした中での平成30年度全学FD研修会を受け、早速、翌年度、夏期集中講義「総合科目B(学生災害ボランティア入門)」が開講された。シラバスには「本学の建学の精神である『自立協同』に基づき、人々がそれぞれの地域で他者との協同のもと自立しながら生きていく上で、いつか必要とされる災害時のボランティアについて、講義と受講生自身によるアクティブラーニングによって学ぶ。人間生活学部・保健福祉学部・総合政策学部および地域連携センターの教職員、外部講師が授業を担当し、議論に

おけるファシリテーター役を務める。最終日は、被災地にて学外実習を行う」と記された。

実習先となる被災地は、前年 8 月の西日本豪雨災害で町全体が水没し、犠牲者 51 人となった岡山県倉敷市真備町であった。約 40 名の学生が真備町で、被災者とともに、写真洗浄のボランティアをする被災地実習を行った。

さて、一連の取組においてキーワードとなるのは、正課外教育である。『大学における学生生活の充実方策について（報告）－学生の立場に立った大学づくりを目指して－』文部省高等教育局（平成 12 年）（通称「廣中レポート」）も、「学習体験の具体的な場面に即して、各学生の主体的条件に働きかける教育指導を行うことによって、その人格的形成を総合的に援助する」正課外教育の役割の重要性を指摘し、これまで「正課外教育に対する大学の取組が遅れてきたことは否めない。このことは、大学における主役は教授研究を行う教員であり、学習する側である学生が常に脇役であり続けたことと無縁ではない」と指摘していた。

大学の主役は学習者たる学生であると位置づけ、学生の立場に立った大学作りを更に進めるには、どうしたらいいのか。こうして、令和元年度の全学FD研修会は、「『分かった』を引き出すアクティブラーニング」と題し、森朋子・関西大学教育推進部教授を講師に迎えて開催された。

FDの基本は、学生たちに「分かった」と思ってもらえる授業設計と実践の繰り返し、そして振り返りである。佐藤浩章編著『シリーズ大学の教授法 2 講義法』（玉川大学出版部、2017 年）には、「講義法に役立つ 20 のモチベーション理論」が紹介されている。これを例に、森先生が講演で巧みに説かれた、学習理論研究に裏打ちされた授業実践は、私たちが苦闘しているくどのようにすれば学生たちに学び続ける、考え抜くためのモチベーションを持たせるか>という課題の解決に向けたヒントを示すものであった。

学習理論を研究テーマにする高等教育研究者は、全国的にも少ない。本学には、幼小中高の教員を育成することに携わっている教員も多い。そうした教員も含めて、森先生の実践報告は刺激的であったろうし、授業改善の参考になったと推測している。

そして、令和 2 年度は、コロナ禍にあつて、杉森公一・金沢大学国際基幹教育院准教授の遠隔配信による「大学教育のリノベーション（再創造）－遠隔授業を契機として」と題する全学FD研修会開催となった。

授業を遠隔で行う際に、対面による 90 分の授業とは異なった設計が必要である。例えば、学習理論上、一篇 15 分ほどの映像を 3 本にすることなどが求められ、授業中に教員が提供できる授業内容は、対面におけるそれと比して、遠隔ではどうしても少なくなる。初めての遠隔配信にあたり、授業内容の見直し・精選のための準備に時間をかけた教員がほとんどだったはずである。教育成果の確認にあたっては同様であろう。

教育のリノベーションがどこまで進むか、試行錯誤が続く今の時点では定かでない。だが、授業方法の改善に授業内容の改善が連動して全学で試みられることは、FDが大学設置基準によって義務付けられて以来、初めてである。令和 3 年度は、全学FD研修会を、学外講師招聘ではなく、学内FD実践の報告会とする予定である。新たな歩みを進める教職員による、126 年目の「自立協同」に期待したい。

3. 研修会

3-1 現状

本学FD研究部会の取り組みとして、教育に関する研修会の開催がある。これらは、主に「学内研修会」「学外研修会」「新任・昇任教員研修会」の3つの形で展開している。また、本学では、FD研究部会とSD推進委員会が独立して活動しているが、本年度の研修会では、FDとSDを合わせた研修会も一部開催している。

本年度実施した学内でのFD研修会は3回で、下記(1)に示すとおりである。これらは、『平成30年度FD研究部会活動報告書』において指摘された改善点、すなわち「時代に即した研修会とともに参加者の増加を図ること」を考慮して行った。第1回FD研修会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりキャンパスでの通常の対面授業が行えなくなった状況から、授業を担当する全教員に本学で使用している学習支援システムであるGoogle Classroomを利用して遠隔配信授業を行う方法を周知するため、本学情報センター職員を講師として本学キャンパスで開催された。また、第2回と第3回のFD研修会については外部講師による研修会であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第2回FD研修会はZoom接続の形式により、第3回FD研修会は9月15日～10月31日の期間でGoogle Classroomによるコンテンツ配信とアンケート回答の形式で行われた。また、(2)は例年夏季に開催されている学外での研修会であり、参加予定であったが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催が中止された。そして、(3)は今年度に予定及び実施した新任・昇任教員研修会であるが、第1回新任・昇任教員研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が中止された。

(1) 学内研修会

第1回FD研修会

- ・日程：徳島キャンパス 4月10日(金)、4月13日(月)
香川キャンパス 4月14日(火)、4月15日(水)
- ・演題：「学習支援システムGoogle Classroomを利用した遠隔配信授業について」
- ・講師：田尾 公生・松田 和也・松井 康・山地 健斗（本学情報センター）
- ・会場：徳島キャンパス 9号館 5階 9501教室
香川キャンパス 11号館 3階 ターミナル室
- ・実施方法：受講者を分割して、各自90分間の研修を受講する。
- ・受講者：徳島キャンパス 225名、香川キャンパス 109名 合計 334名

第2回FD研修会（SP0D遠隔配信・第2回新任・昇任教員研修会）

- ・日時：9月8日(火)10:00～12:00
- ・演題：「大人数講義法の基本」
- ・講師：小林 直人（愛媛大学 学長特別補佐 教育企画室長）
- ・実施方法：Zoom接続にて実施する。
- ・受講者：徳島キャンパス 5名、香川キャンパス 1名 合計 6名

第3回FD研修会（全学FD研修会・第3回新任・昇任教員研修会）

- ・日程：9月15日(火)～10月31日(土)
- ・演題：「大学教育のリノベーションー遠隔授業を契機としてー」
- ・講師：杉森 公一（金沢大学 国際基幹教育院高等教育開発・支援部門 准教授）
- ・実施方法：講演内容を Google Classroom 上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。
- ・受講者：徳島キャンパス 224名、香川キャンパス 101名 合計 325名

(2) 学外研修会（SPOD：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）

SPODフォーラム2020（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止）

(3) 新任・昇任教員研修会

- ・対象教員：徳島キャンパス 23名 香川キャンパス 3名 合計 26名
- ※昇任教員は、助教・講師に昇任された先生の内、これまで研修を受講されていない先生記載して
- ・研修回数：3回であるが、そのうち2回はFD研修会と同時開催

第1回新任・昇任教員研修会

（新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令中のため中止）

- ・日時：5月16日(土)10:00～15:00
- ・場所：香川キャンパス 図書館 3階 AVホール
- ・内容：

10:00～10:20「本学の教育について」	田村 学長
10:20～10:40「本学の学生の状況とFD活動について」	青野 部会長
10:40～11:20「これからの高等教育と授業に役立つヒント」	小林 副部会長
11:20～12:00「香川キャンパス施設紹介」	各学部担当者
12:00～13:00「学長と新任・昇任教員との意見交換会」	
13:00～13:20「初任者教員での学びと実践」	宮原 先生
13:30～15:00「アクティブラーニング型授業を体験してみよう」	宮原 先生

第2回新任・昇任教員研修会（第2回FD研修会と同時開催）

- ・日時：9月8日(火) 10:00～12:00
- ・演題：「大人数講義法の基本」
- ・講師：小林 直人（愛媛大学 学長特別補佐 教育企画室長）
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。

第3回新任・昇任教員研修会（第3回FD研修会と同時開催）

- ・日時：9月15日(火)～10月31日(土)
- ・演題：「大学教育のリノベーションー遠隔授業を契機としてー」
- ・講師：杉森 公一（金沢大学国際基幹教育院高等教育開発・支援部門 准教授）
- ・実施方法：講演内容を Google Classroom 上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。

3-2 点検・評価

上記の現状整理の通り、本年度の研修会は開催形式、開催内容ともに新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を色濃く受けたものとなった。学内の研修会については、SPOD遠隔配信の第2回FD研修会「大人数講義法の基本」は参加者が少なかった。第3回FD研修会は全学FD研修会・第3回新任・昇任教職員研修会を兼ねているが、Google Classroom 上のコンテンツを視聴する形式で行われた。参加者（アンケート回答）数は徳島・香川両キャンパス合計 321 名を数えた。アンケートからは研修会開催時期が9月～10月の配信であり、前期の遠隔授業経験を踏まえて、学生を学習主体者として授業を行うことの重要性とこれを実際に実現することのテクニカル面での対応の問題などについて、各教員が現在抱える教育上の課題と研修内容の関係が率直に寄せられていた。

また、例年、学外研修会として本学からも多数の参加があるSPODフォーラムについては、本年度は開催が中止となったが、SPOD加盟校を対象としたSPODコア校主催研修会として9月24日に愛媛大学で開催された「FD・SDスキルアップ講座」 「学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計ー課題分析図の活用ー」（オンライン開催）に人間生活学部人間生活学科 池添 純子先生が参加し、受講内容以外にも身体の移動がなく、業務の合間に受講できる短時間の研修会のメリットを報告いただいた。

新任・昇任教員研修会については、対象の教員を一堂に集めて行う形式の研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止された。

3-3 改善計画（改善点）

上述の様に、FD研究部会での議論と工夫を重ね、マンネリ化しないように年々より良い研修会となるように企画を改善している。相応しい講師・予算面や研修テーマなど様々な問題があるが、今後とも時代に即した研修会の開催を計画していきたい。また、参加者の増加を図り、有意義な研修会になるように検討する必要があると考える。また、本年度の第3回FD研修会において行なった Google Classroom 上でのコンテンツ視聴ならびにアンケート回収については、その方法について今後検討することで、新しい開催形式を模索することができると考える。

大学全体が一丸となってスムーズな学生教育を進める上では、FDとSDの協同も一考であろう。

(SPODコア校主催研修会参加報告書)

愛媛大学「FD・SDスキルアップ講座」(9月24日)参加報告

人間生活学部人間生活学科 池添 純子

オンラインで開催された、SPOD加盟校を対象とするFD・SDスキルアップ講座「学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計ー課題分析図の活用ー」に参加した。

はじめに、学生の学習意欲を高めるためには、その授業を受講すると何ができるようになるのかが明確であること、ジャンプすれば手が届きそうな目標であること、どのようにすればそれが学べるのかが分かることなど、綿密に設計された授業であることが必要との説明があった。そのためには、学習目標の明確化と学習課題の分析が重要であり、本研修の目的は「学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計を行うために、課題分析の手法を用いて、より分かりやすく、学びやすい授業を設計できるようになる」ということが確認された。

講義では、まず、具体的な授業設計には、授業で学ぶ以前の知識がどの程度あると設定するのか(前提条件)、学習順序をどのように設定するのか(基礎→応用だけではない)といった切り口があることが示され、究極には、テスト問題を作成することから始めるという手法もあることが紹介された。さらに学習順序の原理を理解するため、グループに分かれワークを行った。他大学から参加する先生方と、普段の授業で実践されている手法を共有しながら意見交換することができた。

次に、構造化された学習内容の要素を、一度各パーツに分解し、再構造化する手法について説明があった。学習課題の種類は、言語情報・知的技能・運動技能・態度の4つに分類でき、それぞれに応じた課題分析の手法があることを、事例や特色とともに紹介された。続いて、実際に分析手法の一つである“手順分析”を用い、「目玉焼きの作り方」の課題分析図を作成した。各自で分析図を作成した後、先ほどとは異なるグループに分かれ、それぞれが作成した課題分析図を共有した。「目玉焼き」という誰もがイメージできる簡単な工程でも、人によりパーツの分解方法やスタート(前提条件)が異なることが理解できた。

最後に、自身の授業科目をひとつ選択し、研修で学んだ手法を用いて課題分析ワークに取り組んだ。ワークの途中では、講師がオンライン上で個別に巡回指導をしてくださり、研修内容の質問や授業設計のポイントについてアドバイスをいただいた。今回教授いただいた内容は、今後、自身の授業内容を整理する際に活用できると感じている。各回の授業と15回分の授業をそれぞれ構造化することで、学びやすく、学習意欲の向上につながる授業設計となるよう心掛けたい。

また、今年度のFD研修はオンラインで開催されるものが多くあり、移動時間を考慮せず受講が可能であったため、複数の研修に参加することができた。特に「すぐ使える90分セミナー」など短時間の研修は、普段の業務の合間に参加可能で、オンライン開催のメリットを感じた。今後もハイブリッドな開催が継続されることを期待する。

4. 全学授業アンケート

4-1 現状

本学では平成 20 年度以降、授業改善のための基礎資料を収集する目的でアンケート形式により学生の授業評価を実施してきた。平成 25 年度からはハイブリッド授業評価アンケート方式を導入した。すなわち、学生による授業評価と、担当教員による評価結果に対するコメントと翌年度授業への対応記載という、学生と担当教員の双方が関与する方式として、継続してきた。令和元年度に、FD委員会による授業評価アンケートの再検討が行われ、「全学授業アンケート」と名称を変更し、以下に示す2つの目的に資するデータを得るべく、実施している。

- (1) 学生自身の学びの振り返り・自己評価に基づく、学習態度・方法の改善
- (2) 受講生全体の自己評価の確認に基づく、教員の授業内容・方法の改善

4-2 点検・評価

(1) アンケートの実施状況

学生のアンケート対象者数、回答数および回収率を表1に示す。アンケートの実施スケジュールは以下のとおりである。

前期：学生アンケート 7月1日(水)～8月31日(月)
集計結果の公開 9月2日(水)～
教員コメント 9月2日(水)～10月31日(土)
集計結果・教員コメントの公開 11月1日(日)～
後期：学生アンケート 1月8日(金)～2月10日(水)
集計結果の公開 2月15日(月)～
教員コメント 2月15日(月)～3月18日(木)
集計結果・教員コメントの公開 3月19日(金)～

表1 授業アンケート実施状況（令和2年度）

	前期			後期		
	対象数	回答数	回答率(%)	対象数	回答数	回答率(%)
全 体	47,925	28,388	59.2	46,339	28,791	62.1

(2) 教員によるフィードバックの状況

教員によるフィードバックである教員コメントの記入率は表2に示した。

表2 教員コメントの記入率（令和2年度）

	前期	後期
全 体	73.5%	69.6%

前年度と同様に計画を行い、入力状況を踏まえ一部入力期間を延長した。授業アンケートの集計結果と教員コメントの開示範囲は学内のみとし、開示期間はコメント記入期間の約1週間後から1年程度とした。

なお、今回も令和元年度と同様に、学生回答率の母数となる『履修登録している学生の総数』について、前期分は令和2年5月時点、後期分は12月時点に教務システムに登録されている履修登録数の総数を母数とした。また、教員回答率の母数となる『教員の担当科目数の総数』について、前期分は令和2年5月時点、後期分は12月時点に教務システムに登録されている教員の担当科目数の総数を母数とした。

また、後期の授業アンケートでは、開講科目の中で受講している学生が5人以上の科目に対して、学生が授業アンケートに回答している科目がどの程度であるかの集計を新たに実施したところ、表3のような結果となった。ほぼすべての科目で学生は回答していることがわかったが、学生が回答していない科目が少なからずあるので、この点に関して改善を図る必要がある。

表3 授業アンケート回答状況（令和2年度）

	後期		
	開講科目数	回答科目数	回答率(%)
全 体	1,376	1,319	95.9

4-3 改善計画（改善点）

本年度の学生回答率は、前期59.2%（前年度67.1%）、後期62.1%（前年度61.8%）であり前期は回答率の低下がみられた。前期においては、多くの期間が新型コロナウイルス感染症への対策として、遠隔での授業実施となったため、学生へのアンケート協力の周知が不徹底となったことが影響したと思われる。他方、教員のコメントの記入率は、前期73.5%（前年度68.8%）、後期69.6%（前年度76.8%）であった。前期の記入率の向上は、コメント記入期間が延長されたことと、遠隔授業への関心の高さが影響したと思われる。学生の回収率は問題視すべきであるが、回答率自体はおおむね60%に達しており、総合的には大過なく実施できたと思われる。

ここで、現時点でのアンケートの運用上の改善点は、第1クォーターの科目は前期の終わりと同じ時期、また第3クォーターの科目は後期の終わりと同じ時期にアンケートが実施されることであり、受講期間中に回答ができない点である。この点を改善する方策として、第1クォーターや第3クォーターの受講学生にも、受講期間中にアンケートの回答を実施できるような運用を図りたい。

この「全学授業アンケート」が、学生自身の学習の振り返りと今後の学習強化ならびに本学の教育の質の向上に寄与できるようにしなければならない。そのために、アンケート回答率のアップを目指し、学生および教員への徹底した周知を図る必要がある。今後、さらに内容・実施方法等についても議論を重ね、より良いものにしていきたいと考えている。

5. 研究授業

5-1 現状

「研究授業」は、平成 20 年度後期より、徳島・香川両キャンパスの全学部・学科において実施しており、今年で 13 年目となる。

今年度の研究授業実施については新型コロナウイルス感染症の影響が大きくあり、コロナ禍における研究授業の実践と新たな取り組みについて検討する一年となった。

令和 2 年度に実施された「教員相互による授業参観型」の研究授業は、徳島キャンパスで 10 科目（前期 6 科目、後期 4 科目）、香川キャンパスで 1 科目（前期 0 科目、後期 1 科目）、両キャンパスで合計 11 科目の実施となった。

(1) 目的

研究授業の開始以降実施され続けている「教員相互の授業参観型」は、教員が授業を参観することにより授業改善のために参考になるもの、取り入れられるものを見つけ、自分自身の授業に活かしていくことを目的としている。各教員の教授法の向上と学生の理解力や思考力の向上をめざしており、授業担当者の教授法に対し悪い点を指摘するためのものではない。

「目標設定型」は平成 24 年度より導入している。あらかじめ教授方法や授業運営上の改善点を設定し、定めた期間の中で調査・研究を行うものである。効果的な授業技術の掘り起こしとそれらの共有が主な目的となる。

(2) 実施方法

各学部及び学科は、「教員相互による授業参観型」「目標設定型」のどちらか、もしくは両方の研究授業を選択することができる。年間の実施頻度は各学部及び学科に委ねている。コロナ禍での実施となった今年度は、従来通りの「教員相互による授業参観型」「目標設定型」に加え、遠隔配信授業となる状況においてはオンライン研究授業も含めるとし、研究授業を実施するか否かの判断そのものを各学部及び学科に委ねた。

対面による「教員相互による授業参観型」の場合は、学期始めに各学部及び学科の授業担当者と研究授業を補助する授業協力者を定め、授業担当者は研究授業を対象とする科目及び実施日を決める。実施科目と実施日についてはFD研究部会が情報をまとめ、事務局が「研究授業予定」一覧表を作成し全学の教員に周知した。

参観範囲は、所属学科に限らずどの科目も参観可能である。研究授業の進行及び記録は授業協力者（あるいは学部、学科の評価・FD委員会）が行い、原則として1講時90分の内授業開始から60分を授業参観とし、残りの30分を授業担当者、授業協力者及び授業参観者による意見交換会の時間とした。意見交換会では「(1) 目的」にある研究授業の主旨に基づき討議を行った。研究授業実施後は、2週間以内に別紙の様式（図1）に授業担当者と授業協力者（あるいは学部、学科の評価・FD委員会）によって、研究授業記録を作成することとした。研究授業記録はFD研究部員を通してFD研究部会へ提出される。

オンライン研究授業については、Google Classroom を用いた研究授業を実施した。「研究授業予定一覧表」にある「教室」の項目を「教室/クラスコード」へ変更し、事前にクラスコードを記載することにより、当日、教員は自由に Google Classroom 上で参観できるようにした。

研究授業（教員相互の授業参観）記録			
学 部		学 科	
授 業 者		科 目 名 (シラバス番号)	()
授業協力者		実施教室	
実施日時	平成 年 月 日 曜日 講時		
対象学生		受講学生数：	名
取 扱 法			
授業テーマ			
研究授業内容自己評価			
研究授業参観者の意見・感想			
授業参観教員数	名		

研究授業（目標設定型）記録			
学 部		学 科	
実施代表者			
実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
目標の説明			
対象学年 または科目	受講学生数： 名		
具体的な取組み方法			
結果			
協力教員数	名 (内訳)		

図 1 研究授業記録様式

5-2 点検・評価

表 3 に、今年度と過去 9 年間の学部、学科別の研究授業実施数と参観者数の推移を示す。今年度の年間研究授業実施数は 11 科目であり、昨年度と比較して大幅に減少、年間参観者総人数もまた減少した。原因としては、特に前期は全学共通で授業が遅れて開始されたこと、同時に遠隔配信授業に切り替わったことなどの影響が大きく、研究授業実施を選択した学科が少なかったと考えられる。

オンライン研究授業は理学療法学科と人間生活学科合わせて 5 科目の実施が報告されている。Google Classroom や Google Meet を用いており、参観教員は事前に周知されているクラスコードを使い授業に参加した。対面による参観では通常授業終了後にディスカッションの時間を設けているが、オンラインとなる場合は同様におこなうことが難しく、メール等を用いて授業担当者へ感想等を報告する方法とした。オンライン研究授業によるディスカッションやその後の報告書の取りまとめ等については、次年度に向けた課題となるであろう。

表3 学部、学科別の研究授業実施数と研究授業の参観者数(名)の推移

年度	平成23 2011		平成24 2012		平成25 2013		平成26 2014		平成27 2015		平成28 2016		平成29 2017		平成30 2018		平成31 2019		令和2年 2020	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
年間研究授業実施数	16	16	17	16	11	17	4	15	18	15	18	10	16	10	21	10	7	17	6	5
香川薬学	32	25、18	25、22、26	19、25、26	15	19	13	22	18	22	18	27	21	20	17	22	23	21		
日本文学	9		9				9		9				7		8					
英語英文化		2			3		4				2		3				3			
文化財			5			23			5		5				6(オンライン)		3			
宿泊セミナー	12			14	8		6		5、4		4、5		4		5					
学部内合計	21	2	19	9	11	23	15	4	14	9	11	5	11	3	5	14	3	3		
機械創造	7		6		4			2	5		4		3				1			
電子情報		5						目標設定型					3		2					
ナノ物質	4		4		5			目標設定型					3		2					
理工学部		2						目標設定型					目標設定型		目標設定型					2
臨床工学																				
学部内合計	11	7	10	5	4		2		8		10		6		2		1			
薬学部																				
薬学科	7	8	5	2	7	4	7	7	未提出	未提出	未実施	4	4	4	8	7	4	11		
人間生活		2		1		2		2	3		3		3		2		1			5
食物栄養		4	4		2	2	1	1	4	2	1	7	7		7、8		3			
心理			2		1	2	2	3	2	3	6	3	4		1	3	1			
児童		5	1		2	2	2	5	1	1	1	4	4		3		3			
行動デザイン	4			4			1		4	4	1		2		2		4			
建築デザイン	3		5		2	1	1	3	2	2	2		2		2		2			
学部内合計	12	11	11	6	9	9	9	17	12	12	8	10	15	18	1	25	4	10		
総合政策	6	6	8	4	5	6	6	6	5	10	3	3	3		2		2			
音楽学部								目標設定型												
音楽	3	4	3	3	3	0	0	2	2	2	1	3	6	6	2		2			
臨床工学									5				3				5			
診療放射線																				
人間福祉	3	1	1		1			1			4	4	4	4	3	2				2
理学療法	1	4	3		2	0		1	1	1	0	1								6科目合計6名
看護	6	6	8	8	8	8	8	13	9	12	7	8	5	5	5	5	4	5		17
保健福祉部																				
口腔保健																				
学部内合計			20	23	16	15	8	13	11	18	11	13	9	12	17	2	4	14		
保育									5											
生活科学									7				1							3
短期大学部																				
商科	3											5								3
言語コミュニケーション	5																			
音楽																				
学部内合計	8	6								12										
前・後期別 参観者数	110	98	139	119	62	80	30	54	69	89	58	74	62	65	50	75	40	65	6	29
年間参観者総人数	208		258		142		84		158		132		127		125		105		35	
1科目当たりの参観者数	6.9	6.1	8.2	7.4	5.6	4.7	7.5	3.6	4.6	4.9	5.8	4.1	6.2	4.1	5.0	3.6	5.7	3.8	1.0	5.8

表4には、各学科の授業参観による参観者の意見を一部抜粋したものを示している。各学部及び学科から提出された報告書によれば、「導入部分で視聴覚教材を活用し、講義内容への導入がうまくできていた。」との意見が挙げられた他、オンライン研究授業を実施した学科によっては「遠隔授業を学生の立場で受講してみると、Meetの音声のみではなく画像で教員の表情が見られることに意味があると感じた。」等といった、遠隔配信授業ならではの取り組みや工夫に関する意見も出されていた。

表4 各学科の授業参観による参観者の意見と目標設定型の研究授業の効果

[教員相互による授業参観型] 各学科の授業参観による参観者の意見 研究授業報告書より一部抜粋：●好意的な意見（なお、全記録は別CD資料）
(理工学部ナノ物質工学科) ● アクティブラーニングの取り入れ方として参考になりましたので、来年度いくつか導入してみる気になりました。
(人間生活学部人間生活学科) ● 高齢化の現状の資料を配布し、それについてのGoogle Formの質問は、答えやすく選択肢もよく考えられていた。
(保健福祉学部人間福祉学科) ● 導入部分で視聴覚教材を活用し、講義内容への導入がうまくできていた。
(保健福祉学部理学療法学科) ● 遠隔授業を学生の立場で受講してみると、Meetの音声のみではなく画像で教員の表情が見られることに意味があると感じた。パワーポイントの画面を見ながら、ときどき教員の姿を見ることで授業への集中を継続できる効果があるように思えた。
(保健福祉学部看護学科) ● 2部屋に分かれたリモート授業の課題とその対応の共有ができた。また、ITを活用して双方向の講義ができるような工夫をしていくことの必要性を感じた。
(短期大学部生活科学科) ● 少人数のメリットを生かし、全員に発言する機会を与えているところが良かった。

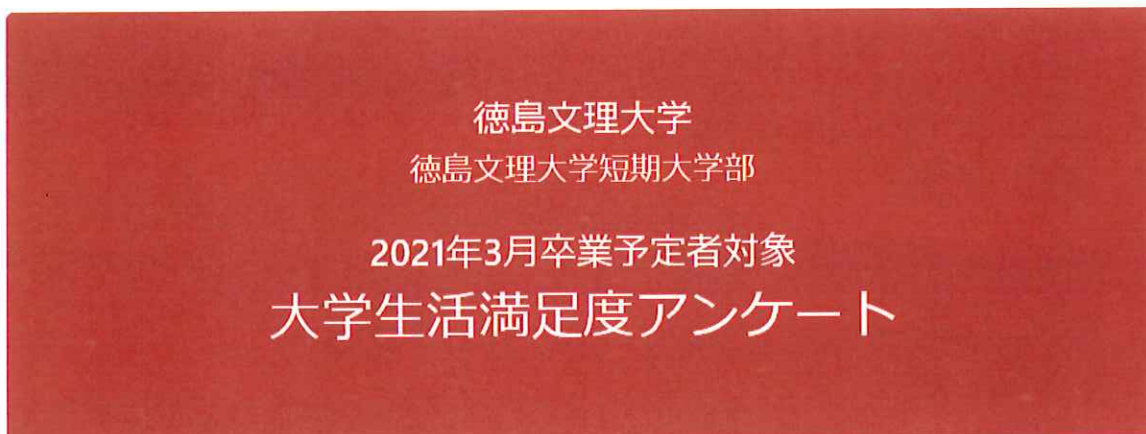
5-3 改善計画（改善点）

次年度も今年度のような状況が続くことを予想すると、コロナ禍における研究授業のあり方、実施方法、評価方法について引き続き検討していく必要があると考える。オンライン研究授業という新しい取り組みも実施されたことから、新たな研究授業の役割について次年度に改めて検討していきたい。

6. 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート

6-1 現状

本学では、卒業生（正確には、卒業時の学生に対する）を対象とした満足度評価アンケートを平成 21 年度から継続的に実施している。卒業生満足度評価アンケートは、学生が卒業時に、入学時から卒業までの期間における学生生活の振り返りをとおして、学生からの本学の教育に対する評価を受け、教育の充実と改善に資する資料を得ることを目的に行われ、外部への情報発信の役割も併せ持つものである。



今年卒業（修了）される学生を対象に実施しています。最終学年以外の方の回答はご遠慮ください。

この調査は2021年3月に修了される皆様へ、本学での学生生活を振り返っていただき、教育内容や施設、学生生活などについての意識を知るためのものです。集計結果は本学の教育の充実と改善を図るために役立てます。大変お手数ですが、以下のアンケートに回答をお願いいたします。

【重要】回答者の学籍番号は回答の重複を防ぐために利用するだけで、最終的には誰がどのような回答をしたのかはわかりませんように集計します。安心して真摯な回答をお願いいたします。

本システムの利用にはログインが必要です。
学生ポータルサイトの利用時と同じログインIDとパスワードを入力してください。

【学籍番号】(例：165200)

【パスワード】

ログイン

【回答時の連絡事項】

- (1) 回答できるのは1回だけです。回答後に回答内容の変更はできません。
- (2) 自由記述欄に誹謗中傷的な記入はおやめください。このような記入があった場合には回答を削除することがあります。

図 6-1 アンケートログイン画面（学生用）

令和2年度の実施において、このアンケートの質問項目を1ヶ所変更した。具体的には、大分類「Ⅲ 大学の施設および支援体制について」の「4 ポータルサイトや学内のPCは利用しやすかったですか」を「4 学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか」に変更した。この理由は、以前のこの質問項目に対する結果の平均値がここ数年間でほとんど変化していないこと、本学のWi-Fiサービスを近年充実させたことに対する学生の満足度を調査したいということである。

このアンケートの回答画面のスクリーンショットを図6-2から図6-6に示す。

卒業生対象・大学生生活満足度アンケート	
	[165200] さんログイン中 ログアウト
回答者（あなた）についてお尋ねします	
性別を教えてください [必須]	
<input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> 男性	
現所属学科の在籍年数を教えてください [必須]	
<input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 3年 <input type="radio"/> 4年 <input type="radio"/> 5年 <input type="radio"/> 6年 <input type="radio"/> 7年 <input type="radio"/> 8年 <input type="radio"/> 9年以上	
卒業後の進路（回答時の状態）について教えてください [必須]	
<input type="radio"/> 就職 <input type="radio"/> 進学 <input type="radio"/> 未定	
あなたの成績について教えてください [必須]	
<input type="radio"/> いちばん多かったのは「優」だと思う <input type="radio"/> いちばん多かったのは「良」だと思う <input type="radio"/> いちばん多かったのは「可」だと思う	

図6-2 アンケート回答画面（1/5）

授業・教育課程についてお尋ねします（全体として）
授業科目は充実していましたか [必須]
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
授業や実習内容はわかりやすかったですか [必須]
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
専門的な知識や技能（免許・資格を含む）を修得できましたか [必須]
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
教育に対する熱意は感じられましたか [必須]
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
授業以外の指導（学外実習、見学、補習など）は充実していましたか [必須]
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
課題（宿題やレポートなど）の量は適切でしたか [必須]
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない

図 6-3 アンケート回答画面 (2/5)

大学の設備および支援体制についてお尋ねします（全体として）	
履修登録の支援は役に立ちましたか【必須】	
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない	
就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか【必須】	
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない	
図書館は利用しやすかったですか【必須】	
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない	
学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか【必須】	
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない	
授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか【必須】	
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない	
食堂や売店・コンビニに満足していましたか【必須】	
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない	
生活や健康に関する悩みがあった場合、相談できる体制は整っていましたか【必須】	
<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> ややそう思う <input type="radio"/> どちらでもない <input type="radio"/> ややそう思わない <input type="radio"/> そう思わない	

図 6-4 アンケート回答画面（3/5）

キャンパスライフについてお尋ねします

キャンパスは清潔でしたか [必須]

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

課外活動（部活やイベントなど）に満足しましたか [必須]

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

頼りになる教員に出会えましたか [必須]

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

よき友と出会えましたか [必須]

- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- ややそう思わない
- そう思わない

図 6-5 アンケート回答画面 (4/5)

総合評価をお尋ねします

総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか [必須]

そう思う
 ややそう思う
 どちらでもない
 ややそう思わない
 そう思わない

知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか [必須]

そう思う
 ややそう思う
 どちらでもない
 ややそう思わない
 そう思わない

本学で良かった点（カリキュラム、設備、お世話になった教員・スタッフ名など）を具体的にお書きください（2000字以内）

ご要望・ご意見・改善案などをお書きください（2000字以内）

**回答が終わったらここを押してください
確認画面に移ります**

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

図 6-6 アンケート回答画面 (5/5)

令和 2 年 12 月度の定例合同教授会において、これまでと同様に卒業予定者に対して大学生生活の満足度アンケートを実施することを告知し、同時に回答用のシステムをスタンバイさせた。回答期間については各学部・学科に委ねることにしていたが、原則として卒業証書授与式の日まで（2021 年 3 月 17 日）とした。該当する学生に対しては、大学事務より 1 月上旬に電子メールにて回答を依頼した。さらに、各学部・学科の担当教員からも学生に対して適宜回答を依頼した。このとき、回答状況がリアルタイムでわかるように、図 6-7 のようなインターネット上で稼動するシステムを構築した。このシステムは各学科（部局）の回答者数を閲覧することができ、さらに回答数のところをクリックすると回答を済ませた学籍番号のリスト一覧が閲覧できるようになっている。ただし、アンケートの回答内容は閲覧できない。

所属名	回答者数
《大学院》薬学研究科薬学専攻博士課程	0
《大学院》文学研究科博士前期課程	0
《大学院》文学研究科博士後期課程	0
《大学院》工学研究科システム制御工学専攻博士前期課程	0
《大学院》工学研究科ナノ物質工学専攻博士前期課程	1
《大学院》工学研究科システム制御工学専攻博士後期課程	0
《大学院》工学研究科ナノ物質工学専攻博士後期課程	0
《大学院》人間生活学研究科食物学専攻博士前期課程	1
《大学院》人間生活学研究科生活環境情報学専攻博士前期課程	0

図 6-7 学科別（部局別）回答状況確認システム

アンケート結果は、全体、学部別に集計し図表に整理した。これらは実施年度の翌年度のはやい時期に定例合同教授会で報告される。また、記入された自由記述欄の内容については一覧にまとめられて部局長会で報告している。

アンケートはインターネットに接続している PC やスマートフォンのブラウザを利用して回答される。このアンケートのログイン画面の URL は

<http://sd.bunri-u.ac.jp/enq/>

である。

6-2 点検・評価

卒業生満足度評価アンケートは、967 人を対象に Web 方式にて行い、648 人から回答を得、回答率 67.0%（2019 年度は 72.8%、2018 年度は 65.8%、2017 年度は 33.8%）であった。所属別の内訳は表 6-1 に示す通りである。今年度も昨年度と同様に回答率が高くなった要因としては、合同教授会などにおいて全教員に周知徹底をはかったことが挙げられる。

全学全体の評価結果の概要を概観すると、最も高得点は、Ⅳ－４の「よき友と出会いましたか」（4.63点）であり、例年と同じであった。次に高得点は、Ⅴ－１の「総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか」（4.44点）、次に、Ⅳ－１の「キャンパスは清潔でしたか」（4.42点）とⅣ－３「頼りになる教員に出会えましたか」（4.41点）がほぼ同じであった。このことから、卒業生は学生時代に良き友と教員に出会い、清潔な環境で本学での日常を充実させていたと推察される。

表 6-1 所属別アンケート回答状況

所属名	卒業者数	回答者数	回答率(%)
人間生活学部	274	193	70.4
音楽学部	12	11	91.7
薬学部	80	48	60.0
文学部	36	32	88.9
理工学部	67	58	86.6
総合政策学部	63	44	69.8
香川薬学部	47	15	31.9
保健福祉学部	267	164	61.4
短期大学部	91	73	80.2
全体	967	648	67.0

一方、最も低い得点は、Ⅲ－４の「学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか」（3.73点）であった。これは今回新設した質問である。2番目に低い得点は、Ⅳ－２の「クラブやサークル活動は参加しやすかったですか」（3.75点）であった。これは、新型コロナの影響で今年度このような活動が原則的にできなかったことが影響したと考えられる。これらの低得点項目は、入試広報委員会や保健管理センター、教務委員会など他委員会や組織体との連携によって改善に資するものと考えられる。卒業生向けの大学生生活満足度アンケートは、FD研究部会の活動であるが、評価結果を『FD研究部会活動報告書』（冊子体）に記載して全教員に配布している。この活動報告書を参考にして、教職員が一丸となって学生の満足度が高くなるよう、今後、各種関連委員会や組織体との連携強化が課題となる。

なお、資料編に、学部全体、短期大学部全体、各学部に分けて数値とグラフを示しているのご高覧頂きたい。

6-3 改善計画（改善点）

(1) 質問項目の検討

このアンケートを始めた当初は、マークシートを利用して限られた時間内で回答させなければならないことから、質問項目はできるだけ少なく厳選した。しかしながら、近年のSNS等の普及に伴い、学生がスマートフォンなどの情報端末でアンケートに回答することに抵抗がなくなってきていると感じている。これを鑑みると、質問項目を少しだ

け増やしても実施上の問題はないのではないかと思われる。徳島文理大学の学生の満足度を高めるためのより具体的なヒントを得られるような質問項目の追加を部会で検討したい。

(2) 大学生生活満足度アンケート結果を教育環境や教育改善に活かすシステム構築

これまで平成 21 年度～令和 2 年度に渡り、11 年間卒業生に対する満足度アンケートを行い、その結果をもとに、改善計画（改善点）をたて、満足度評価の方法論やシステムについて改善を行ってきた。そのことにより、教育環境や教育活動が少しずつ改善されてきているが、まだ十分とはいえない。

多大な費用とエネルギーを費やし実施してきた満足度評価アンケートから教育環境や教育改善に活かす事項が見出されたならば、今後は、その結果を活かすシステムの構築が課題となってくる。卒業生の満足度・不満足度を明らかにする単なるアンケートで終わっては意味がない。今後は、評価結果を活かして機能していくように、例えば、他委員会や組織体との情報共有や連携・協働など教育環境や教育改善に活かすシステム（仕組み）を構築していく時期にきている。

7. おわりに

新型コロナウイルスは、学生たちのキャンパスライフの隅々にまで影響を与えた。この一年を振り返れば、昨年 4 月、新入生たちは、大学での学びをどのように始めていいのか、誰にも訊けず、不安の中で、とりあえずのスタートを切った。一方、最終学年の学生たちは、目の前の資格試験や公務員試験の勉強、そして就職活動に、なかなか専念できず、今年 3 月、多くは不完全燃焼のまま卒業していった。

そんな中で、私たちに求められたのは、本学の建学の精神に立ち返ることであったことも事実であろう。

教員は、教壇においてであれ、遠隔配信のパソコンの前においてであれ、一人で講義をするしかない。一応の研修を受けてではあったが、Google Classroom や Meet などを、それなりに使うことを余儀なくされた。コロナ禍で、教員の多くもまた、なにがあっても「自分で解決できる能力」を持つしかなかった。

令和 3 年度、新たに迎える一年生に対して、対面はもちろん、遠隔であっても、自信を持って授業ができる教員集団でありたいと、願うばかりである。

資料編目次

1	要綱・内規	
1-1	徳島文理大学教育開発機構設置要綱	1
1-2	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 F D研究部会内規	2
2	F D研究部会 部員名簿・会議一覧	
2-1	令和 2 (2020)年度 F D研究部会部員名簿	3
2-2	令和 2 (2020)年度 F D研究部会会議一覧	4
2-3	令和 2 (2020)年度 F D研究部会議事録【別CD資料】	
3	研修会	
3-1	令和 2 (2020)年度 F D研修会	5
3-2	令和 2 (2020)年度 新任・昇任教員研修会	6
3-3	令和 2 (2020)年度 学外研修会等参加者一覧	7
3-4	令和 2 (2020)年度 研修会プログラム及びアンケート【別CD資料】	
4	全学授業アンケート	
4-1	令和 2 (2020)年度 全学授業アンケート	10
4-2	令和 2 (2020)年度 前期：大学全体 集計結果	11
4-3	令和 2 (2020)年度 前期：学部・大学院全体 集計結果	12
4-4	令和 2 (2020)年度 前期：短期大学部全体 集計結果	13
4-5	令和 2 (2020)年度 前期：教員コメント全体 集計結果	14
4-6	令和 2 (2020)年度 後期：大学全体 集計結果	15
4-7	令和 2 (2020)年度 後期：学部・大学院全体 集計結果	16
4-8	令和 2 (2020)年度 後期：短期大学部全体 集計結果	17
4-9	令和 2 (2020)年度 後期：教員コメント全体 集計結果	18
4-10	アンケートの内容	19
4-11	教員コメントの内容	20
5	研究授業	
5-1	令和 2 (2020)年度 前期 研究授業一覧	21
5-2	令和 2 (2020)年度 後期 研究授業一覧	22
5-3	研究授業(教員相互の授業参観)記録様式	23
5-4	研究授業(目標設定型)記録様式	24
5-5	令和 2 (2020)年度 研究授業の記録【別CD資料】	
6	卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	
6-1	令和 2 (2020)年度 卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート	25
6-2	令和 2 (2020)年度 大学全体 集計結果	26
6-3	令和 2 (2020)年度 大学院・専攻科・学部全体 集計結果	27
6-4	令和 2 (2020)年度 短期大学部全体 集計結果	28
6-5	アンケートの内容	29
6-6	令和 2 (2020)年度 学部別集計結果データ【別CD資料】	
7	用語解説	
7-1	用語解説	30

徳島文理大学教育開発機構設置要綱

(設置・目的)

第1条 全学的な教育改革を実現するため、当面する教育上の諸課題又は学長からの諮問事項を研究協議し、徳島文理大学（以下「本学」という。）の一層の教育力の向上を図ることを目的として、本学に学長直属の教育開発機構（以下「機構」という。）を設置する。

(組織)

第2条 機構に、次に掲げる委員会及び部会を置く。

- (1) 全学教務委員会
- (2) 入試制度検討部会（入学前教育を含む。）
- (3) 全学共通教育研究部会
- (4) FD研究部会

2 機構の代表責任者は、副学長とする。

(委員会及び部会の構成)

第3条 委員会及び各部会は、それぞれ各学部及び関係する事務部門から推薦された委員又は部会員で構成する。ただし、学長が特に必要と認めた者を加えることができる。

(委員長及び部会長)

第4条 委員会及び各部会に、それぞれ委員長又は部会長を置く。

- 2 委員長及び部会長は、学長が任命する。
- 3 委員長及び部会長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 委員長又は部会長がやむを得ない事由により退任する場合は、学長に申し出て、その承認を受けなければならない。

(委員及び部会員)

第5条 委員及び部会員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員会及び部会)

第6条 委員長及び部会長は、必要に応じ、それぞれ委員会又は部会を招集するものとする。

- 2 委員会又は各部会の議長は、委員長又は各部会長がこれに充たる。
- 3 委員長又は各部会長に事故あるとき、若しくは欠けた場合は、あらかじめ委員長又は各部会長が指名した者が議長となる。
- 4 委員及び部会員がやむを得ない事由により欠席する場合は、代理出席を認めるものとする。

(事務局)

第7条 機構の事務は、徳島キャンパス教務部が処理するものとする。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、機構の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 「徳島文理大学教育開発機構設置要綱」（平成19年10月30日施行）は、廃止する。

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 F D 研究部会内規

(設 置)

第1条 徳島文理大学教育開発機構設置要綱に基づき、F D 研究部会を設置する。

(目 的)

第2条 F D とは「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」(大学設置基準第二十五条の三)を指すものであり、F D 研究部会は、全学的なF D 活動を推進及び支援し、教育の質の向上を図ることを目的とする。

(調査研究事項)

第3条 F D 研究部会は、次に掲げる事項を調査研究する。

- 1 F D 活動に関する情報収集と提供
- 2 F D 活動の企画・立案
- 3 F D 活動実施計画の立案・実施
- 4 F D 活動の評価
- 5 その他、F D 研究部会が必要と認めた事項

(組 織)

第4条 F D 研究部会は、次の委員をもって構成する。

- 1 部会長 1名
- 2 副部会長 2名 (徳島キャンパス1名、香川キャンパス1名)
- 3 部員 各学部より1名、教育研究支援課より若干名

第5条 部会長・副部会長及び部員の選任

- 1 部会長・副部会長は学長が任命する。
- 2 部員は各学部長及び教務部長が学長に推薦し、学長が任命する。

第6条 部会長及び部員の退任

- 1 部会長・副部会長は、諸事情により退任する場合は学長に申し出なければならない。
- 2 部員は、諸事情により退任する場合は各学部長あるいは教務部長に申し出なければならない。

(会 議)

第7条 部会の開催

- 1 部会長は、原則として毎月1回部会を開催し、これを主宰する。
- 2 部員は、部会長の招集に応じ部会に出席しなければならない。やむを得ない事情により欠席する場合は、代理の出席者を立てなければならない。

(任 期)

第8条 部会長、副部会長及び部員の任期は原則2か年とし、再任を妨げない。

(事務局)

第9条 F D 研究部会の事務は、教育研究支援課が担当する。

附 則

- 1 本内規は、平成19年12月13日から施行する。
- 2 本内規は、平成20年12月2日から一部改正施行する。
- 3 本内規は、平成26年4月1日から一部改正施行する。
- 4 本内規は、平成30年4月1日から一部改正施行する。

令和2(2020)年度 F D研究部会部員名簿

	氏 名	所 属
副学長	吉田 憲一	
部会長	青野 透	総合政策学部
副部会長	小林 郁典	理工学部
〃	千葉さやか	音楽学部
部 員	角 大悟	薬学部
〃	原田耕太郎	人間生活学部
〃	西川 啓介	保健福祉学部(徳島キャンパス)
〃	橋本 誠志	総合政策学部
〃	佐賀 啓子	短期大学部
〃	大岡 嘉治	香川薬学部
〃	松崎 健司	保健福祉学部(香川キャンパス)
〃	井田 琇穂	文学部
事務局	井上 薫	教育研究支援課(徳島キャンパス)
〃	藤本 浩美	〃
〃	池田 正樹	教育研究支援課(香川キャンパス)

令和2(2020)年度 FD研究部会会議一覧

回数	日時	会場
第118回FD研究部会	令和2年5月21日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第119回FD研究部会	令和2年6月18日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第120回FD研究部会	令和2年9月17日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第121回FD研究部会	令和2年11月19日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第122回FD研究部会	令和2年12月17日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第123回FD研究部会	令和3年1月21日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:25号館4階スタジオ型講義室 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)
第124回FD研究部会	令和3年2月18日(木) 16:30~17:30	徳島キャンパス:2号館2階アコンサスタジオ 香川キャンパス:図書館3階AVホール (テレビ会議)

令和2(2020)年度 F D研修会

①第1回F D研修会

- ・日 程：徳島キャンパス 4月10日(金)、4月13日(月)
香川キャンパス 4月14日(火)、4月15日(水)
- ・演 題：「学習支援システム Google Classroom を利用した遠隔配信授業について」
- ・講 師：田尾 公生・松田 和也・松井 康・山地 健斗(本学情報センター)
- ・会 場：徳島キャンパス 9号館 5階 9501教室
香川キャンパス 11号館 3階 ターミナル室
- ・実施方法：受講者を分割して、各自90分間の研修を受講する。
- ・受講者：徳島キャンパス 225名、香川キャンパス 109名 合計 334名

②第2回F D研修会(SPOD遠隔配信)

- ・日 時：9月8日(火) 10:00~12:00
- ・演 題：「大人数講義法の基本」
- ・講 師：小林 直人(愛媛大学 学長特別補佐 教育企画室長)
- ・実施方法：Zoom 接続にて実施する。
- ・受講者：徳島キャンパス 5名、香川キャンパス 1名 合計 6名
※第2回新任・昇任教員研修会を兼ねる。

③第3回F D研修会(全学F D研修会)

- ・日 程：9月15日(火)~10月31日(土)
- ・演 題：「大学教育のリノベーションー遠隔授業を契機としてー」
- ・講 師：杉森 公一(金沢大学 国際基幹教育院高等教育開発・支援部門 准教授)
- ・実施方法：講演内容を Google Classroom 上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。
- ・受講者：徳島キャンパス 224名、香川キャンパス 101名 合計 325名
※第3回新任・昇任教員研修会を兼ねる。

令和2(2020)年度 新任・昇任教員研修会

(対象) 新任教員、昇任教員

昇任教員は、助教・講師に昇任された先生で、これまで研修を未受講の先生

(対象者数) 26名

(研修回数) 3回(第2回・第3回の研修会は、FD研修会と同時開催)

①第1回新任・昇任教員研修会

(新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令中のため、中止)

- ・日時: 5月16日(土) 10:00~15:00
- ・会場: 香川キャンパス 図書館 3階 AVホール
- ・プログラム:
 - 10:00~10:20 田村 禎通 学長
「本学の教育について」
 - 10:20~10:40 青野 透 FD研究部会長(総合政策学部長)
「本学の学生の状況とFD活動について」
 - 10:40~11:20 小林 郁典 FD研究部会副部会長(理工学部准教授)
「これからの高等教育と授業に役立つヒント」
 - 11:20~12:00 「香川キャンパス施設紹介」
 - 12:00~13:00 「学長と新任・昇任教員との意見交換会」
 - 13:00~13:20 宮原 和沙 (保健福祉学部人間福祉学科准教授)
「初任者研修での学びと実践」
 - 13:30~15:00 宮原 和沙 (保健福祉学部人間福祉学科准教授)
「アクティブラーニング型授業を体験してみよう」

②第2回新任・昇任教員研修会

- ・日時: 9月8日(火) 10:00~12:00
- ・演題: 「大人数講義法の基本」
- ・講師: 小林 直人(愛媛大学 学長特別補佐 教育企画室長)
- ・実施方法: Zoom 接続にて実施する。

③第3回新任・昇任教員研修会

- ・日程: 9月15日(火)~10月31日(土)
- ・演題: 「大学教育のリノベーションー遠隔授業を契機としてー」
- ・講師: 杉森 公一(金沢大学 国際基幹教育院高等教育開発・支援部門 准教授)
- ・実施方法: 講演内容をGoogle Classroom上で配信し、視聴後にアンケートに回答する。

令和2(2020)年度 学外研修会等参加者一覧

①SPOD研修会・フォーラム等参加

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
令和2年 9月8日(火)	SPODプログラム I-004 大人数講義法の基本	SPOD	オンライン	(徳島キャンパス) 薬学部 堀ノ内裕也 保健福祉学部 波止 千恵 折部 知子 短期大学部 佐賀 啓子 生駒 恵子 (香川キャンパス) 香川薬学部 芳地 一
令和2年 9月9日(水)	学生の学びを支援する授業準備 ワークショップ (オンライン授業対応編)	高知大学	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 土中 幸宏
令和2年 9月24日(木)	SPODプログラム I-011 学生の学びやすさと学習意欲を 高める授業設計 ー課題分析図の活用ー	SPOD	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 池添 純子
令和2年 10月15日(木)	徳島大学全学FDプログラム 『すぐ使える90分セミナー』 (全10回) 発達障害のある学生に配慮した 授業づくり	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 保健福祉学部 宮原 和沙 平岡 峰子
令和2年 11月4日(水) ～6日(金)	大学人・社会人としての基礎力 養成プログラム(新任職員)	SPOD	オンライン	(学園本部) 総務部 樽家 拓也 (徳島キャンパス) 入試広報部 若林 麻菜
令和2年 11月19日(木)	SPOD加盟校内講師派遣プログラ ム 事例から考えるハラスメント	香川高等専 門学校	香川高等専 門学校	(香川キャンパス) 総務部 佐々木和昭

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
令和2年 11月19日(木)	徳島大学全学FDプログラム 『すぐ使える90分セミナー』 (全10回) 試験問題・レポート課題の作り 方	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 中川利津子 保健福祉学部 宮原 和沙 岡島真理子 田村 幸子
令和2年 11月26日(木) ～27日(金)	大学人・社会人としての基礎力 養成プログラム(レベルII)	SPOD	オンライン	(徳島キャンパス) 総務部 西本多美子
令和2年 12月9日(水) ～令和3年 1月9日(土)	「FD・SDスキルアップ講座」 I-014 学修評価の基本	愛媛大学	e-Learning (Moodle 非同期型)	(徳島キャンパス) 保健福祉学部 宮原 和沙
令和2年 12月10日(木) ～令和3年 1月29日(金)	「FD・SDスキルアップ講座」 I-015 学生の授業時間外学習を促すシ ラバス作成法	愛媛大学	e-Learning (Moodle 非同期型)	(徳島キャンパス) 保健福祉学部 宮原 和沙 教務部 井上 薫
令和2年 12月10日(木) ～令和3年 1月10日(日)	「FD・SDスキルアップ講座」 I-016 アクティブラーニング入門セミ ナー	愛媛大学	e-Learning (Moodle 非同期型)	(徳島キャンパス) 保健福祉学部 木野 綾子 宮原 和沙
令和2年 12月17日(木)	徳島大学全学FDプログラム 『すぐ使える90分セミナー』 (全10回) 入試の効果測定	徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 保健福祉学部 宮原 和沙
令和2年 12月23日(水)	第2回愛媛大学データサイエンス 教育セミナー	愛媛大学	オンライン	(徳島キャンパス) 教務部 井上 薫
令和3年 1月11日(月)	2020-2021年度 第3回中国・四国地区研究会	中国・四国 地区研究会	オンライン	(徳島キャンパス) 教務部 藤本 浩美

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
令和3年 2月5日(金) ～3月5日(金)	「FD・SDスキルアップ講座」 I-017 教職員のための学習支援入門セミナー	愛媛大学	e-Learning (Moodle 非同期型)	(徳島キャンパス) 保健福祉学部 宮原 和沙 教務部 藤本 正己
令和3年 3月2日(火)	「アクティブラーニング実践 (だれでもできる！グループワークのためのファシリテーション)」	香川大学	オンライン	(徳島キャンパス) 人間生活学部 池添 純子 保健福祉学部 宮原 和沙 上田伊佐子 波止 千恵

②SPOD会議参加一覧表

開催日	名称	主催者	開催場所	参加者
令和2年 8月17日(月) ～8月31日(月)	四国地区大学教育能力開発ネットワーク臨時総会(紙上)	SPOD		学長 田村 禎通
令和2年 11月18日(水)	第1回T-SPOD会議	SPOD 徳島大学	オンライン	(徳島キャンパス) 教務部 井上 薫 総務部 佐々木 尊
令和2年 12月17日(木) ～12月28日(月)	四国地区大学教育能力開発ネットワーク臨時総会(紙上)	SPOD		学長 田村 禎通
令和3年 3月29日(月)	令和2年度 「四国地区大学教育能力開発ネットワーク」総会及びFD/SD分科会	SPOD	オンライン	学長 田村 禎通 (徳島キャンパス) 総合政策学部 青野 透 総務部 佐々木 尊

令和 2 (2020) 年度 全学授業アンケート

アンケート 実施期間	<p>(前期) 令和 2年 7月 1日(水) ~ 8月31日(月)</p> <p>(後期) 令和 3年 1月 8日(金) ~ 2月10日(水)</p>
アンケート 回 答 率	<p>(前期) 回答率 59.2% 対象数 47,925 回答数 28,388</p> <p>(後期) 回答率 62.2% 対象数 46,324 回答数 28,791</p>
教員コメント 記入期間	<p>(前期) 令和 2年 9月 2日(水) ~ 10月31日(土)</p> <p>(後期) 令和 3年 2月15日(月) ~ 3月18日(木)</p>
教員コメント 回 答 率	<p>(前期) 回答率 73.5% 対象数 2,219 回答数 1,632</p> <p>(後期) 回答率 69.6% 対象数 2,574 回答数 1,791</p>
アンケート結果 教員コメント 公開期間	<p>(前期) 令和 2年 11月 1日(日) から 1年間</p> <p>(後期) 令和 3年 3月 19日(金) から 1年間</p>

4-2 (前期：大学全体)

2020年度前期 授業アンケート集計結果 (全体)

徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	28,388	有効回答数	28,223
47,925	回答率	59.23%	有効回答率	99.4%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	9,458	0.34	3.06
部分的に読んだ(3点)	12,848	0.46	
ほとんど読まなかった(2点)	4,147	0.15	
まったく読まなかった(1点)	1,770	0.06	

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	8,841	0.31	3.15
どちらかというに興味があった(3点)	15,301	0.54	
どちらかというに興味がなかった(2点)	3,425	0.12	
まったく興味がなかった(1点)	656	0.02	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	13,201	0.47	3.35
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	12,092	0.43	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	2,432	0.09	
わかりにくい内容であった(1点)	498	0.02	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	24,104	85.41
自立性	9,871	34.98
協同性	4,834	17.13
考え抜く力	11,530	40.85
交渉力	3,190	11.30
発信力	3,407	12.07

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	18,767	66.50
授業の進め方	16,246	57.56
教科書・パワーポイントなどの資料	13,057	46.26
課題や宿題の内容 (量も含む)	8,497	30.11
教室の設備	5,366	19.01

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	9,409	0.33	3.10
良(3点)	12,594	0.45	
可(2点)	5,976	0.21	
不可(1点)	244	0.01	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	13,081	0.46	3.39
どちらかという満足(3点)	13,296	0.47	
どちらかという不満足(2点)	1,543	0.05	
不満足(1点)	303	0.01	

4-3 (前期：学部・大学院全体)

2020年度前期 授業アンケート集計結果 (学部・大学院)

徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	26,578	有効回答数	26,421
45,539	回答率	58.36%	有効回答率	99.4%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	8,943	0.34	3.06
部分的に読んだ(3点)	11,910	0.45	
ほとんど読まなかった(2点)	3,882	0.15	
まったく読まなかった(1点)	1,686	0.06	

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	8,231	0.31	3.14
どちらかというに興味があった(3点)	14,368	0.54	
どちらかというに興味がなかった(2点)	3,204	0.12	
まったく興味がなかった(1点)	618	0.02	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	12,290	0.47	3.34
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	11,347	0.43	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	2,306	0.09	
わかりにくい内容であった(1点)	478	0.02	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	22,573	85.44
自立性	9,204	34.84
協同性	4,470	16.92
考え抜く力	10,797	40.87
交渉力	2,882	10.91
発信力	3,108	11.76

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	17,501	66.24
授業の進め方	15,093	57.13
教科書・パワーポイントなどの資料	12,159	46.02
課題や宿題の内容 (量も含む)	7,904	29.92
教室の設備	4,895	18.53

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	8,891	0.34	3.11
良(3点)	11,689	0.44	
可(2点)	5,604	0.21	
不可(1点)	237	0.01	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	12,196	0.46	3.38
どちらかという満足(3点)	12,469	0.47	
どちらかという不満足(2点)	1,461	0.06	
不満足(1点)	295	0.01	

4-4 (前期：短期大学部全体)

2020年度前期 授業アンケート集計結果 (短期学部)

徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	1,810	有効回答数	1,802
2,386	回答率	75.86%	有効回答率	99.6%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか				
設問	回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)	515	0.29	3.05	
部分的に読んだ(3点)	938	0.52		
ほとんど読まなかった(2点)	265	0.15		
まったく読まなかった(1点)	84	0.05		

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか				
設問	回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)	610	0.34	3.17	
どちらかというに興味があった(3点)	933	0.52		
どちらかというに興味がなかった(2点)	221	0.12		
まったく興味がなかった(1点)	38	0.02		

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか				
設問	回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)	911	0.51	3.41	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	745	0.41		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	126	0.07		
わかりにくい内容であった(1点)	20	0.01		

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください			
設問	回答数	選択率(%)	
専門的な知識・技能	1,531	84.96	
自立性	667	37.01	
協同性	364	20.20	
考え抜く力	733	40.68	
交渉力	308	17.09	
発信力	299	16.59	

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください			
設問	回答数	選択率(%)	
説明内容	1,266	70.26	
授業の進め方	1,153	63.98	
教科書・パワーポイントなどの資料	898	49.83	
課題や宿題の内容 (量も含む)	593	32.91	
教室の設備	471	26.14	

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか				
設問	回答数	比率	加重平均	
優(4点)	518	0.29	3.07	
良(3点)	905	0.50		
可(2点)	372	0.21		
不可(1点)	7	0.00		

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか				
設問	回答数	比率	加重平均	
満足(4点)	885	0.49	3.44	
どちらかという満足(3点)	827	0.46		
どちらかという不満足(2点)	82	0.05		
不満足(1点)	8	0.00		

4-5 (前期：教員コメント全体)

2020年度 前期 授業アンケートに対する教員コメント (全体) 徳島文理大学

対象数 (教員の担当科目数の総和)	2,219	回答数	1,632	回答率	73.5%
-------------------	-------	-----	-------	-----	-------

1. 授業内容について				
設問	回答数	比率	加重平均	
受講生にとっては難しいと感じた [1]	216	0.13	0.12	
受講生にとっては適切であると感じた [0]	1,389	0.85		
受講生にとっては易しいと感じた [-1]	27	0.02		

2. 受講生の学習態度について				
設問	回答数	比率	加重平均	
期待通りに学習していた [4]	704	0.43	3.37	
どちらかといえば期待通りに学習していた [3]	835	0.51		
どちらかといえば期待した学習をしていなかった [2]	82	0.05		
期待した学習をしていなかった [1]	11	0.01		

3. 到達目標のクラス全体の達成度について				
設問	回答数	比率	加重平均	
ほとんどの受講生が達成したと思う (80%以上) [4]	852	0.52	3.46	
半分以上の受講生が達成したと思う (50~80%程度) [3]	683	0.42		
達成した受講生は比較的少ないと思う (30~50%程度) [2]	87	0.05		
達成した受講生はほとんどいないと思う (30%以下) [1]	10	0.01		

4. 前年度と比べて改善あるいは工夫された項目 (複数選択可)		
設問	回答数	選択率 (%)
使用した教材 (教科書や資料など)	1,003	61.46
教え方 (授業の進め方や話し方など)	1,102	67.52
課外学習の内容	372	22.79
評価方法	391	23.96
今回がはじめての担当であった (判断できない)	214	13.11

5. 利用した教授法 (複数選択可)		
設問	回答数	選択率 (%)
次回の授業の紹介 (次回の学習の動機づけ、予習など)	765	46.88
各回の授業のふりかえり (宿題、学習を強化するもの)	902	55.27
50%以上の受講生が授業中に発表する機会	394	24.14
受講生同士の交流 (議論や教えあい、グループワーク)	398	24.39
情報通信技術の利用 (オフィスソフト、学習管理システム)	874	53.55
定期試験以外の学習評価	539	33.03
その他 (特徴的なもの)	136	8.33

4-6 (後期：大学全体)

2020年度後期 授業アンケート集計結果 (全体)

徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	28,791	有効回答数	28,521
46,324	回答率	62.15%	有効回答率	99.1%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	10,321	0.36	3.08
部分的に読んだ(3点)	12,198	0.43	
ほとんど読まなかった(2点)	4,005	0.14	
まったく読まなかった(1点)	1,997	0.07	

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	9,838	0.34	3.20
どちらかというに興味があった(3点)	15,115	0.53	
どちらかというに興味がなかった(2点)	2,971	0.10	
まったく興味がなかった(1点)	597	0.02	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	14,519	0.51	3.41
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	11,549	0.40	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	1,989	0.07	
わかりにくい内容であった(1点)	464	0.02	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	24,929	87.41
自立性	9,808	34.39
協同性	6,298	22.08
考え抜く力	10,773	37.77
交渉力	4,063	14.25
発信力	3,586	12.57

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	19,763	69.29
授業の進め方	16,447	57.67
教科書・パワーポイントなどの資料	12,526	43.92
課題や宿題の内容 (量も含む)	8,490	29.77
教室の設備	7,321	25.67

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	10,308	0.36	3.13
良(3点)	11,994	0.42	
可(2点)	5,972	0.21	
不可(1点)	247	0.01	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	14,881	0.52	3.46
どちらかという満足(3点)	12,113	0.42	
どちらかという不満足(2点)	1,266	0.04	
不満足(1点)	261	0.01	

4-7 (後期：学部・大学院全体)

2020年度後期 授業アンケート集計結果 (学部・大学院)

徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	26,995	有効回答数	26,746
44,220	回答率	61.05%	有効回答率	99.1%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
全体的に読んだ(4点)	9,746	0.36	3.08
部分的に読んだ(3点)	11,352	0.42	
ほとんど読まなかった(2点)	3,732	0.14	
まったく読まなかった(1点)	1,916	0.07	

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか			
設問	回答数	比率	加重平均
とても興味があった(4点)	9,178	0.34	3.20
どちらかというに興味があった(3点)	14,197	0.53	
どちらかというに興味がなかった(2点)	2,810	0.11	
まったく興味がなかった(1点)	561	0.02	

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか			
設問	回答数	比率	加重平均
わかりやすい内容であった(4点)	13,536	0.51	3.40
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	10,844	0.41	
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	1,918	0.07	
わかりにくい内容であった(1点)	448	0.02	

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
専門的な知識・技能	23,362	87.35
自立性	9,206	34.42
協同性	5,879	21.98
考え抜く力	10,167	38.01
交渉力	3,727	13.93
発信力	3,280	12.26

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください		
設問	回答数	選択率(%)
説明内容	18,479	69.09
授業の進め方	15,370	57.47
教科書・パワーポイントなどの資料	11,767	44.00
課題や宿題の内容 (量も含む)	7,953	29.74
教室の設備	6,730	25.16

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
優(4点)	9,719	0.36	3.14
良(3点)	11,177	0.42	
可(2点)	5,609	0.21	
不可(1点)	241	0.01	

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか			
設問	回答数	比率	加重平均
満足(4点)	13,852	0.52	3.45
どちらかという満足(3点)	11,417	0.43	
どちらかという不満足(2点)	1,222	0.05	
不満足(1点)	255	0.01	

4-8 (後期：短期大学部全体)

2020年度後期 授業アンケート集計結果 (短期学部)

徳島文理大学

対象数 (学生の履修登録数の総和)	回答数	1,796	有効回答数	1,775
2,104	回答率	85.36%	有効回答率	98.8%

1. 受講する前 (学期はじめ) に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか				
設問	回答数	比率	加重平均	
全体的に読んだ(4点)	575	0.32	3.08	
部分的に読んだ(3点)	846	0.48		
ほとんど読まなかった(2点)	273	0.15		
まったく読まなかった(1点)	81	0.05		

2. 受講する前 (学期はじめ)、あなたはこの授業に興味 (学習意欲) がありましたか				
設問	回答数	比率	加重平均	
とても興味があった(4点)	660	0.37	3.24	
どちらかというに興味があった(3点)	918	0.52		
どちらかというに興味がなかった(2点)	161	0.09		
まったく興味がなかった(1点)	36	0.02		

3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか				
設問	回答数	比率	加重平均	
わかりやすい内容であった(4点)	983	0.55	3.50	
どちらかというわかりやすい内容であった(3点)	705	0.40		
どちらかというわかりにくい内容であった(2点)	71	0.04		
わかりにくい内容であった(1点)	16	0.01		

5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください			
設問	回答数	選択率(%)	
専門的な知識・技能	1,567	88.28	
自立性	602	33.92	
協同性	419	23.61	
考え抜く力	606	34.14	
交渉力	336	18.93	
発信力	306	17.24	

6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください			
設問	回答数	選択率(%)	
説明内容	1,284	72.34	
授業の進め方	1,077	60.68	
教科書・パワーポイントなどの資料	759	42.76	
課題や宿題の内容 (量も含む)	537	30.25	
教室の設備	591	33.30	

7. あなた自身の学習活動を評価した場合、最終成績 (スコア) はどれだと思いますか				
設問	回答数	比率	加重平均	
優(4点)	589	0.33	3.12	
良(3点)	817	0.46		
可(2点)	363	0.20		
不可(1点)	6	0.00		

8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか				
設問	回答数	比率	加重平均	
満足(4点)	1,029	0.58	3.55	
どちらかという満足(3点)	696	0.39		
どちらかという不満足(2点)	44	0.02		
不満足(1点)	6	0.00		

4-9 (後期：教員コメント全体)

2020年度 後期 授業アンケートに対する教員コメント (全体) 徳島文理大学

対象数 (教員の担当科目数の総和)	2,574	回答数	1,791	回答率	69.6%
-------------------	-------	-----	-------	-----	-------

1. 授業内容について			
設問	回答数	比率	加重平均
受講生にとっては難しいと感じた [1]	215	0.12	0.10
受講生にとっては適切であると感じた [0]	1,549	0.86	
受講生にとっては易しいと感じた [-1]	27	0.02	

2. 受講生の学習態度について			
設問	回答数	比率	加重平均
期待通りに学習していた [4]	840	0.47	3.41
どちらかといえば期待通りに学習していた [3]	864	0.48	
どちらかといえば期待した学習をしていなかった [2]	72	0.04	
期待した学習をしていなかった [1]	15	0.01	

3. 到達目標のクラス全体の達成度について			
設問	回答数	比率	加重平均
ほとんどの受講生が達成したと思う (80%以上) [4]	1,063	0.59	3.55
半分以上の受講生が達成したと思う (50~80%程度) [3]	656	0.37	
達成した受講生は比較的少ないと思う (30~50%程度) [2]	58	0.03	
達成した受講生はほとんどいないと思う (30%以下) [1]	14	0.01	

4. 前年度と比べて改善あるいは工夫された項目 (複数選択可)		
設問	回答数	選択率(%)
使用した教材 (教科書や資料など)	923	51.54
教え方 (授業の進め方や話し方など)	1,195	66.72
課外学習の内容	419	23.39
評価方法	365	20.38
今回がはじめての担当であった (判断できない)	216	12.06

5. 利用した教授法 (複数選択可)		
設問	回答数	選択率(%)
次回の授業の紹介 (次回の学習の動機づけ、予習など)	821	45.84
各回の授業のふりかえり (宿題、学習を強化するもの)	901	50.31
50%以上の受講生が授業中に発表する機会	534	29.82
受講生同士の交流 (議論や教えあい、グループワーク)	633	35.34
情報通信技術の利用 (オフィスソフト、学習管理システム)	878	49.02
定期試験以外の学習評価	658	36.74
その他 (特徴的なもの)	205	11.45

4-10（アンケートの内容）

1. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業のシラバスを読みましたか（ひとつ選択）〔必須〕
 - ・全体的に読んだ
 - ・部分的に読んだ
 - ・ほとんど読まなかった
 - ・まったく読まなかった
2. 受講する前（学期はじめ）に、あなたはこの授業に興味（学習意欲）がありましたか（ひとつ選択）〔必須〕
 - ・とても興味があった
 - ・どちらかというに興味があった
 - ・どちらかというに興味がなかった
 - ・まったく興味がなかった
3. あなたにとってこの授業の全体的な内容は理解しやすいものでしたか（ひとつ選択）〔必須〕
 - ・わかりやすい内容であった
 - ・どちらかというわかりやすい内容であった
 - ・どちらかというわかりにくい内容であった
 - ・わかりにくい内容であった
4. この授業で記憶（印象）に残ったキーワードを5つ挙げてください（各15文字以内）〔3つ必須〕
5. あなたがこの授業を受けたことによって得られたと思うものをすべて選択してください。選択肢以外のものがあればその他に記入してください（複数選択可）
 - ・専門的な知識・技能
 - ・自立性（自分で課題や疑問を解決する力、前に踏み出す力、自己管理力）
 - ・協同性（仲間との協調性、チームで取組む能力）
 - ・考え抜く力（問題解決力）
 - ・交渉力（コミュニケーションスキル）
 - ・発信力（プレゼンテーション能力、表現力、情報収集力）
 - ・その他：
6. この授業に関して良いと思うものをすべて選択してください。選択肢以外のものがあればその他に記入してください（複数選択可）
 - ・説明内容（わかりやすい説明など）
 - ・授業の進め方（時間配分など）
 - ・教科書・パワーポイントなどの教材・資料
 - ・課題や宿題の内容（量も含む）
 - ・学習環境（教室の設備など）
 - ・その他：
7. この授業での学習活動を振り返ってください。あなたがあなた自身を評価した場合、最終成績（スコア）はどれだと思いますか（ひとつ選択）〔必須〕
 - ・優（80～100点）
 - ・良（70～79点）
 - ・可（60～69点）
 - ・不可（60点未満）
8. 総合的にみて、この授業のあなた自身の満足度はどれだと思いますか（ひとつ選択）〔必須〕
 - ・満足
 - ・どちらかという満足
 - ・どちらかという不満足
 - ・不満足
9. この授業について、要望・意見・改善点・感想などを記入してください（1000字以内）

4-11 (教員コメントの内容)

1. 授業内容についてお尋ねします。次のうち該当するものを選択してください(ひとつ選択) [必須]
 - ・受講生にとっては難しいと感じた
 - ・受講生にとっては適切であると感じた
 - ・受講生にとっては易しいと感じた
2. 受講生の学習態度についてお尋ねします。次のうち該当するものを選択してください(ひとつ選択) [必須]
 - ・受講生は期待通りに学習していた
 - ・受講生はどちらかといえば期待通りに学習していた
 - ・受講生はどちらかといえば期待した学習をしていなかった
 - ・受講生は期待した学習をしていなかった
3. 到達目標のクラス全体の達成度についてお尋ねします。次のうち該当するものを選択してください(ひとつ選択) [必須]
 - ・ほとんどの受講生が達成したと思う(80%以上)
 - ・半分以上の受講生が達成したと思う(50%~80%程度)
 - ・達成した受講生は比較的少ないと思う(30%~50%程度)
 - ・達成した受講生はほとんどいないと思う(30%以下)
4. 次のうち前年度と比べて改善あるいは工夫された項目があればすべて選択してください(複数選択可)
 - ・使用した教材(教科書や資料など)
 - ・教え方(授業の進め方や話し方など)
 - ・課外学習の内容
 - ・評価方法
 - ・今回ははじめての担当であった(判断できない)
5. 利用した教授法についてお尋ねします。次のうちこの授業で利用されたものがあればすべて選択してください(複数選択可)
 - ・次回の授業の紹介(次回の学習の動機づけになるもの、予習など)
 - ・各回の授業のふりかえり(宿題やミニツッペーパーなど学習を強化するもの)
 - ・50%以上の受講生が授業中に発表する機会
 - ・受講生同士の交流(議論や教えあい、グループワークなど)
 - ・情報通信技術の利用(パワーポイントなどのオフィスソフト、学習管理システムなど)
 - ・定期試験以外の学習評価
 - ・その他:
6. アンケート結果に対する、または受講生に対するコメントをお書きください(1000字以内) [必須]
7. この授業をより良いものにするために必要なことをお書きください(1000字以内) [必須]

令和2(2020)年度 前期 研究授業一覧

徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	受講学生数	教授法※	シラバス 科目番号	授業者	教室/クラス コード	参観 教員数	授業者	協力者
6月3日	水	1	保健福祉	理学療法	義肢装具学	53	オンライン授業	12072	長田 悠路	qjprnhi	2	1	0
6月12日	金	1	保健福祉	理学療法	運動学Ⅱ	68	オンライン授業	11935	芥川 知彰	gkwj46w	1	1	0
6月16日	火	2	保健福祉	理学療法	神経障害理学療法学	53	教科書・スライドを用いた対面授業	12079	日岡 明美	23203教室	1	1	0
6月22日	月	3	保健福祉	理学療法	生活環境学	52	教科書・スライドを用いた対面授業	12059	近藤 慶承	23302教室	1	1	0
7月10日	金	4	保健福祉	理学療法	健康運動管理学	64	オンライン授業	12087	柳澤 幸夫	xozdvo5	1	1	0
7月25日	土	2	保健福祉	理学療法	内部障害理学療法学	55	オンライン授業	12049	廣瀬 良平	uemsxx3	0	1	0

香川キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	受講学生数	教授法※	シラバス 科目番号	授業者	教室/クラス コード	参観 教員数	授業者	協力者
-----	----	----	----	----	----	-------	------	--------------	-----	---------------	-----------	-----	-----

令和2(2020)年度 後期 研究授業一覧

徳島キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	受講学生数	教授法※	シラバス 科目番号	授業者	教室/クラス コード	参観 教員数	授業者	協力者
12月10日	木	2	保健福祉	看護	情報処理・統計学	95	対面授業	12238	夢田羅勝義	3103教室 3201教室	17	1	1
12月22日	火	3	短期大学	生活科学科 食物専攻	食品衛生学Ⅰ	14	講義(対面授業)	13008	佐賀啓子	9602教室	3	1	0
12月23日	水	1	保健福祉	人間福祉	権利擁護と成年後見制度	19	講義(対面授業)	12455	森泉摩州子	2510④教室	2	1	0
1月8日	金	1	人間生活	人間生活	家族関係学	15	スライド・資料を用いたオンライン授業	12092	池添 純子	7rhjavc	5	1	1

香川キャンパス

授業日	曜日	講時	学部	学科	科目	受講学生数	教授法※	シラバス 科目番号	授業者	教室/クラス コード	参観 教員数	授業者	協力者
1月26日	火	1	理工	ナノ物質工	応用生命科学	19	アクティブラーニング+講義	10692	箕田康一	工302教室	2	1	0

研究授業（教員相互の授業参観）記録			
学 部		学 科	
授 業 者		科 目 名 (シラバス番号)	()
授業協力者		実 施 教 室	
実施日時	平成 年 月 日 曜日 講時		
対象学生			受講学生数： 名
教授法			
授業テーマ			
研究授業内容自己評価			
研究授業参観者の意見・感想			
授業参観教員数	名		

(様式)

研究授業（目標設定型）記録			
学 部		学 科	
実施代表者			
実施期間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日		
目標の説明			
対象学年 または科目	受講学生数： 名		
具体的な取組み方法			
結果			
協力教員数	名 (内訳)		

令和2(2020)年度 卒業予定者対象・大学生活満足度アンケート

実施期間	令和3年1月8日(金)～3月18日(木)
実施人数	学部(大学院・専攻科含む) 876人 短期大学部 91人 合計 967人
回答数・回答率	648人 67.0%

(回答の選択肢番号の意味)

5. そう思う
4. ややそう思う
3. どちらでもない
2. ややそう思わない
1. そう思わない

6-2 (大学全体)

2020年度 卒業生対象大学生生活満足度アンケート集計結果 (徳島文理大学全体)

徳島文理大学

対象者数	967
回答者数	648
回答率	67.0%

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	283 43.7%	365 56.3%	0 0.0%

現所属学科 の在籍年数	1,2年	3,4年	5,6年	7,8年	9年以上	無効
	92 14.2%	483 74.5%	70 10.8%	3 0.5%	0 0.0%	0 0.0%

卒業後の 進路	就職	進学	未定	無効
	547 84.4%	34 5.2%	67 10.3%	0 0.0%

あなたの成績について 一番多かったのは	優	良	可	無効
	301 46.5%	258 39.8%	89 13.7%	0 0.0%

II. 授業・教育課程について (全体として)

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.27	293 45.2%	270 41.7%	62 9.6%	16 2.5%	7 1.1%	648	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.13	234 36.1%	303 46.8%	77 11.9%	26 4.0%	8 1.2%	648	0
3	専門的な知識や技能 (免許・資格を含む) を 修得できましたか	4.36	339 52.3%	234 36.1%	51 7.9%	17 2.6%	7 1.1%	648	0
4	教育に対する熱意は感じられましたか	4.33	316 48.8%	248 38.3%	69 10.6%	9 1.4%	6 0.9%	648	0
5	授業以外の指導 (学外実習、見学、補習など) は 充実していましたか	4.18	291 44.9%	235 36.3%	83 12.8%	27 4.2%	12 1.9%	648	0
6	課題 (宿題やレポートなど) の量は適切でしたか	4.08	251 38.7%	253 39.0%	102 15.7%	29 4.5%	13 2.0%	648	0

III. 大学の施設および支援体制について

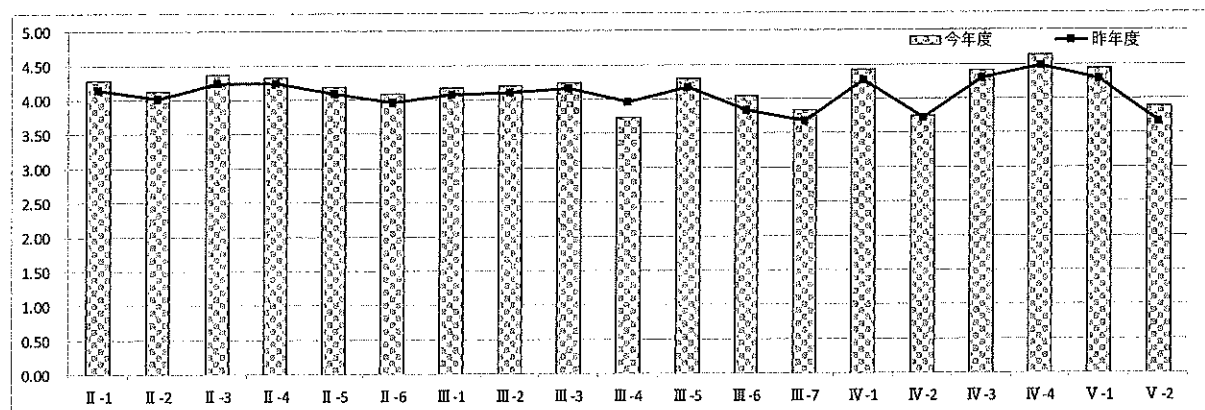
No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.17	304 46.9%	218 33.6%	78 12.0%	29 4.5%	19 2.9%	648	0
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.19	333 51.4%	192 29.6%	67 10.3%	28 4.3%	28 4.3%	648	0
3	図書館は利用しやすかったですか	4.25	338 52.2%	173 26.7%	105 16.2%	22 3.4%	10 1.5%	648	0
4	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	3.73	223 34.4%	202 31.2%	97 15.0%	79 12.2%	47 7.3%	648	0
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.30	317 48.9%	243 37.5%	62 9.6%	17 2.6%	9 1.4%	648	0
6	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	4.04	284 43.8%	213 32.9%	74 11.4%	49 7.6%	28 4.3%	648	0
7	生活や健康に関する悩みがあった場合、相談できる 体制は整っていましたか	3.83	226 34.9%	195 30.1%	153 23.6%	41 6.3%	33 5.1%	648	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.42	372 57.4%	203 31.3%	51 7.9%	16 2.5%	6 0.9%	648	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.75	219 33.8%	164 25.3%	187 28.9%	38 5.9%	40 6.2%	648	0
3	頼りになる教員に出会えましたか	4.41	393 60.6%	170 26.2%	54 8.3%	18 2.8%	13 2.0%	648	0
4	よき友と出会えましたか	4.63	479 73.9%	122 18.8%	32 4.9%	7 1.1%	8 1.2%	648	0

V. 総合評価

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.44	375 57.9%	210 32.4%	44 6.8%	10 1.5%	9 1.4%	648	0
2	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと 思いますか	3.88	221 34.1%	216 33.3%	156 24.1%	22 3.4%	33 5.1%	648	0



6-3 (大学院・専攻科・学部全体)

2020年度 卒業生対象大学生活満足度アンケート集計結果 (大学院・専攻科・学部全体) 徳島文理大学

対象者数	876
回答者数	575
回答率	65.6%

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	276	299	0
	48.0%	52.0%	0.0%

現所属学科 の在籍年数	1,2年	3,4年	5,6年	7,8年	9年以上	無効
	19	483	70	3	0	0
	3.3%	84.0%	12.2%	0.5%	0.0%	0.0%

卒業後の 進路	就職	進学	未定	無効
	484	30	61	0
	84.2%	5.2%	10.6%	0.0%

あなたの成績につい て一番多かったのは	優	良	可	無効
	274	224	77	0
	47.7%	39.0%	13.4%	0.0%

II. 授業・教育課程について (全体として)

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.27	255 44.3%	246 42.8%	56 9.7%	11 1.9%	7 1.2%	575	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.12	205 35.7%	274 47.7%	64 11.1%	24 4.2%	8 1.4%	575	0
3	専門的な知識や技能 (免許・資格を含む) を修得できましたか	4.37	302 52.5%	209 36.3%	45 7.8%	13 2.3%	6 1.0%	575	0
4	教育に対する熱意は感じられましたか	4.32	275 47.8%	226 39.3%	61 10.6%	7 1.2%	6 1.0%	575	0
5	授業以外の指導 (学外実習、見学、補習など) は充実していましたか	4.18	256 44.5%	217 37.7%	66 11.5%	24 4.2%	12 2.1%	575	0
6	課題 (宿題やレポートなど) の量は適切でしたか	4.06	221 38.4%	222 38.6%	92 16.0%	27 4.7%	13 2.3%	575	0

III. 大学の施設および支援体制について

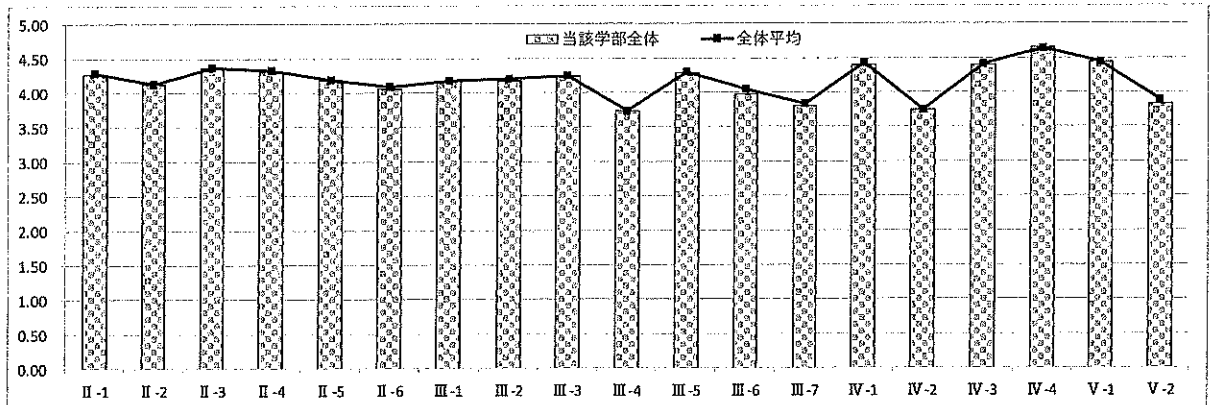
No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.16	269 46.8%	192 33.4%	70 12.2%	27 4.7%	17 3.0%	575	0
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.17	287 49.9%	179 31.1%	57 9.9%	25 4.3%	27 4.7%	575	0
3	図書館は利用しやすかったですか	4.24	299 52.0%	157 27.3%	89 15.5%	20 3.5%	10 1.7%	575	0
4	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	3.73	196 34.1%	186 32.3%	80 13.9%	70 12.2%	43 7.5%	575	0
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.28	273 47.5%	224 39.0%	54 9.4%	16 2.8%	8 1.4%	575	0
6	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	3.97	233 40.5%	195 33.9%	70 12.2%	49 8.5%	28 4.9%	575	0
7	生活や健康に関する悩みがあった場合、相談できる体制は整っていましたか	3.80	193 33.6%	175 30.4%	139 24.2%	37 6.4%	31 5.4%	575	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.39	323 56.2%	184 32.0%	46 8.0%	16 2.8%	6 1.0%	575	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.75	194 33.7%	150 26.1%	158 27.5%	37 6.4%	36 6.3%	575	0
3	頼りになる教員に出会えましたか	4.39	345 60.0%	153 26.6%	48 8.3%	16 2.8%	13 2.3%	575	0
4	よき友と出会えましたか	4.65	429 74.6%	108 18.8%	26 4.5%	6 1.0%	6 1.0%	575	0

V. 総合評価

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.44	330 57.4%	191 33.2%	37 6.4%	9 1.6%	8 1.4%	575	0
2	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか	3.83	183 31.8%	199 34.6%	139 24.2%	22 3.8%	32 5.6%	575	0



6-4 (短期大学部全体)

2020年度 卒業生対象大学生生活満足度アンケート集計結果 (短期大学部)

徳島文理大学

対象者数	91
回答者数	73
回答率	80.2%

I. 記入者について

性別	男性	女性	無効
	7 9.6%	66 90.4%	0 0.0%

現所属学科 の在籍年数	1,2年	3,4年	5,6年	7,8年	9年以上	無効
	73 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

卒業後の 進路	就職	進学	未定	無効
	63 86.3%	4 5.5%	6 8.2%	0 0.0%

あなたの成績につ いて一番多かったのは	優	良	可	無効
	27 37.0%	34 46.6%	12 16.4%	0 0.0%

II. 授業・教育課程について (全体として)

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	授業科目は充実していましたか	4.30	38 52.1%	24 32.9%	6 8.2%	5 6.8%	0 0.0%	73	0
2	授業や実習内容はわかりやすかったですか	4.16	29 39.7%	29 39.7%	13 17.8%	2 2.7%	0 0.0%	73	0
3	専門的な知識や技能 (免許・資格を含む) を 修得できましたか	4.27	37 50.7%	25 34.2%	6 8.2%	4 5.5%	1 1.4%	73	0
4	教育に対する熱意は感じられましたか	4.40	41 56.2%	22 30.1%	8 11.0%	2 2.7%	0 0.0%	73	0
5	授業以外の指導 (学外実習、見学、補習など) は 充実していましたか	4.16	35 47.9%	18 24.7%	17 23.3%	3 4.1%	0 0.0%	73	0
6	課題 (宿題やレポートなど) の量は適切でしたか	4.22	30 41.1%	31 42.5%	10 13.7%	2 2.7%	0 0.0%	73	0

III. 大学の施設および支援体制について

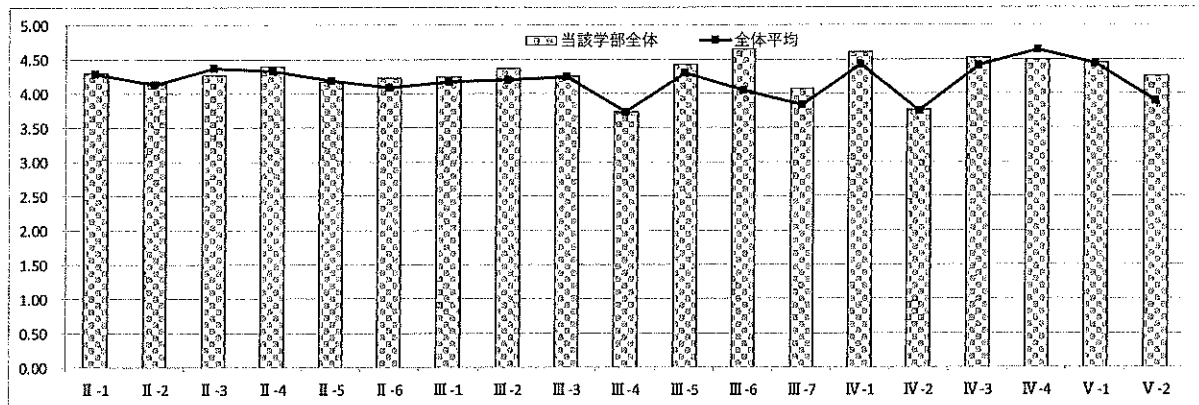
No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	履修登録の支援は役に立ちましたか	4.23	35 47.9%	26 35.6%	8 11.0%	2 2.7%	2 2.7%	73	0
2	就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか	4.37	46 63.0%	13 17.8%	10 13.7%	3 4.1%	1 1.4%	73	0
3	図書館は利用しやすかったですか	4.26	39 53.4%	16 21.9%	16 21.9%	2 2.7%	0 0.0%	73	0
4	学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか	3.73	27 37.0%	16 21.9%	17 23.3%	9 12.3%	4 5.5%	73	0
5	授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか	4.42	44 60.3%	19 26.0%	8 11.0%	1 1.4%	1 1.4%	73	0
6	食堂や売店・コンビニに満足していましたか	4.64	51 69.9%	18 24.7%	4 5.5%	0 0.0%	0 0.0%	73	0
7	生活や健康に関する悩みがあった場合、相談できる 体制は整っていましたか	4.07	33 45.2%	20 27.4%	14 19.2%	4 5.5%	2 2.7%	73	0

IV. キャンパスライフについて

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	キャンパスは清潔でしたか	4.60	49 67.1%	19 26.0%	5 6.8%	0 0.0%	0 0.0%	73	0
2	クラブやサークル活動は参加しやすかったですか	3.75	25 34.2%	14 19.2%	29 39.7%	1 1.4%	4 5.5%	73	0
3	頼りになる教員に出会えましたか	4.52	48 65.8%	17 23.3%	6 8.2%	2 2.7%	0 0.0%	73	0
4	よき友と出会えましたか	4.49	50 68.5%	14 19.2%	6 8.2%	1 1.4%	2 2.7%	73	0

V. 総合評価

No.	設問文	平均点	上段：回答数 / 下段：回答率 (%)					有効回答	無効回答
			5	4	3	2	1		
1	総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか	4.45	45 61.6%	19 26.0%	7 9.6%	1 1.4%	1 1.4%	73	0
2	知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと 思いますか	4.25	38 52.1%	17 23.3%	17 23.3%	0 0.0%	1 1.4%	73	0



6-5 (アンケートの内容)

I 回答者(あなた)についてお尋ねします

- 1 性別を教えてください [必須]
 - ・女性
 - ・男性
- 2 現所属学科の在籍年数を教えてください [必須]
 - ・1年
 - ・2年
 - ・3年
 - ・4年
 - ・5年
 - ・6年
 - ・7年
 - ・8年
 - ・9年以上
- 3 卒業後の進路(回答時の状態)について教えてください [必須]
 - ・就職
 - ・進学
 - ・未定
- 4 あなたの成績について教えてください [必須]
 - ・いちばん多かったのは「優」だと思う
 - ・いちばん多かったのは「良」だと思う
 - ・いちばん多かったのは「可」だと思う

II 授業・教育課程についてお尋ねします(全体として)

- 1 授業科目は充実していましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 2 授業や実習内容はわかりやすかったですか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 3 専門的な知識や技能(免許・資格を含む)を修得できましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 4 教育に対する熱意は感じられましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 5 授業以外の指導(学外実習、見学、補習など)は充実していましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 6 課題(宿題やレポートなど)の量は適切でしたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない

III 大学の設備および支援体制についてお尋ねします(全体として)

- 1 履修登録の支援は役に立ちましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 2 就職や進路についての相談・支援は役に立ちましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 3 図書館は利用しやすかったですか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 4 学内のPCやWi-Fiサービスは利用しやすかったですか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 5 授業や実験・実習に必要な設備は整っていましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 6 食堂や売店・コンビニに満足していましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 7 生活や健康に関する悩みがあった場合、相談できる体制は整っていましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない

IV キャンパスライフについてお尋ねします

- 1 キャンパスは清潔でしたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 2 課外活動(部活やイベントなど)に満足しましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 3 頼りになる教員に出会えましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 4 よき友と出会えましたか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない

V 総合評価をお尋ねします

- 1 総合的にみて、本学での学生生活はよかったですか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない
- 2 知り合いの高校生に本学への進学を勧めたいと思いますか [必須]
 - ・そう思う
 - ・ややそう思う
 - ・どちらでもない
 - ・ややそう思わない
 - ・そう思わない

VI 本学で良かった点(カリキュラム、設備、お世話になった教員・スタッフ名など)を具体的にお書きください(2000字以内)

VII ご要望・ご意見・改善案などをお書きください(2000字以内)

用語解説

【SPOD】

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education）の頭文字をとって「SPOD」と呼ばれている。四国地区の大学及び高等専門学校との連携・協働によって、地区内のFD/S D事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的として、平成20年度の文部科学省戦略的大学連携支援事業としてスタートし、現在、四国地区にある32の高等教育機関が加盟するネットワーク。

【ファカルティ・ディベロップメント（FD）】

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みの総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の実施、新任教員のための研修会の実施などを挙げることができる。

【スタッフ・ディベロップメント（SD）】

事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取り組みを指す。

【ディプロマ・ポリシー（DP）】

卒業認定・学位授与に関する基本的な方針。学部・学科が教育活動の成果として学生に保証する最低限の基本的な資質・養成する人材像と教育研究上の目的を記したもの。

【カリキュラム・ポリシー（CP）】

教育課程編成・実施の方針。DPを保証する体系性と整合性が担保されたカリキュラムを記したもの。

【アドミッション・ポリシー（AP）】

入学者受け入れ方針。各大学・学部がDPを踏まえ、どのような教育活動を行い、また、どのような学生を求めているのかなどの考え方をまとめたもの。

【アクティブ・ラーニング】

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的・倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学修等が含まれるが、教室内でのグループディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

【ルーブリック評価】

いくつかの評価項目について、各レベルの典型となる状況を評価尺度として記述し、学習者のパフォーマンスを評価するもの。通常、表のかたちで示され、判定結果を丸で囲うようにして採点する。学習プロセスの中の場面を切り出し、それぞれに評価項目を設定する。

【ポートフォリオ】

大学等の教員が自分の授業や指導の記録である「教育業績ファイル」を意味するティーチング・ポートフォリオと学生が学習過程ならびに各種の学習成果を長期にわたって収集したものを指すラーニング・ポートフォリオがある。

【IR（機関調査）】

機関の計画策定、政策形成、意思決定を支援するための情報を提供する目的で、高等教育機関の内部で行われる実践志向の強い組織的な調査分析活動。

F D研究部会活動報告書 第12号

令和2年4月～令和3年3月

令和3年4月発行

編 集	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部F D研究部会		
発 行	徳島文理大学		
	徳島キャンパス	〒770-8514	徳島県徳島市山城町西浜傍示 180 電話：088-602-8000(代表)
	香川キャンパス	〒769-2193	香川県さぬき市志度 1314-1 電話：087-899-7100(代表)
